

明治四十年法律第二十一號中改正法律案外一件

明治四十年法律第二十一號中改正法律案外一件

委員會會議錄(速記)第一回

委員會會議錄(速記)第一回

委員會成立

本委員ハ大正十一年二月二十八日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレタリ

- 八田 宗吉君 西川 嘉門君 松實喜代太君
鈴木 義隆君 久下 豐忠君 上塚 司君
友田文次郎君 山移 定政君 佐々木平次郎君
三月一日午前十時二十五分委員長理事互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ

八田 宗吉君 西川 嘉門君 松實喜代太君
鈴木 義隆君 上塚 司君

年長者松實喜代太君投票管理者トナル
○松實投票管理者ハ委員長及理事ノ互選ヲ行フヘキ旨ヲ宣告ス

○上塚委員ハ投票ヲ用キス委員長及理事ノ指名ヲ投票管理
者ニ一任スヘシトノ意見ヲ提出ス

○松實投票管理者ハ上塚司君ノ意見ニ異議ナキヲ認メ八田
宗吉君ヲ委員長ニ上塚司君ヲ理事ニ指名ス

○八田委員長ハ就任ノ挨拶ヲ述ヘ散會ヲ宣告ス
于時午前十時三十分

會議

大正十一年三月三日午前十時三十分開議
出席委員左ノ如シ

- 委員長 八田 宗吉君
理事 上塚 司君
松實喜代太君 鈴木 義隆君 友田文次郎君
佐々木平次郎君

同月二日所得稅法中改正法律案ノ審査ヲ本委員ニ付託セラ
レタリ
出席政府委員左ノ如シ

- 樺太廳長官 永井金次郎君
樺太廳事務官 石坂 豐一君
大藏省主稅局長 松本 重威君
大藏書記官 草間 秀雄君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

岩本 平藏君 村山喜一郎君
本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
明治四十年法律第二十一號中改正法律案

大正九年法律第十二號中改正法律案
所得稅法中改正法律案

○八田委員長 是ヨリ開會致シマス、本委員會ハ明治四十
年法律第二十一號中改正法律案、大正九年法律第十二號中
改正法律案、其外所得稅法中改正法律案、是ハ岩本平藏君外
十一名ノ提出デアリマス、此三案ヲ付託セラレタノデアリマ
ス、各案ニ付キマシテ御質疑ヲ願フテ置キマス

○上塚委員 甚ダ重複テ政府委員ニ對シテ御手數デアリマ
スガ、提案ノ趣旨ヲモウ一遍……

○永井政府委員 四十年法律第二十一號ノ改正案カラ申上
ゲマス、四十年法律第二十一號ハ極テ簡單ナ法案デアリマ
シテ、樺太ノ租稅ニ關スル法律ノ改正デアリマス、現今ノ法
律中ニ規定シテアリマス租稅ノ種目ハ、戶數割營業稅、雜
種稅、所得稅、市街宅地稅、酒造稅、醬油稅ノ七項目デアリマ
ス、此七項目ノ中戶數割稅、雜種稅ヲ除キタリト云フ改正
案デアリマス、其戶數割稅、雜種稅ヲ除キタリト云フ改正
案ノ通りニ樺太ニ於キマシテハ、本年四月一日ヨリ町村制ヲ
施行スルノデアリマス、町村制ヲ施行スルニ付キマシテ、町
村ノ財源ノ必要ヲ感スルノデアリマス、就キマシテ戶數割
ト雜種稅ヲ町村ノ財源トスルノガ適切ナリト認メマシテ、
樺太廳ノ財源ノ中ヨリ戶數割稅、雜種稅ヲ除キタリト考ヘル
ノデアリマス、而シテ此戶數割稅、雜種稅ヲ除キタリト考ヘ
トシテ、戶數割ニ於キマシテハ九萬五千五百九十一圓、雜種
稅ニ於キマシテハ四萬二千五百七十九圓、是ダケノ費目
ガアリマスノデ、此費目ヲ町村ノ財源ニ移シタリト考ヘル
ノデアリマス、大體右様ナ次第デアリマス

○松實委員 此切合樺太廳ニ於ケル國稅、地方稅若クハ町
村稅ノ賦課徵收等ハ、ドウ云フ風ニナツテ居リマス、大體御
村致シタイ

○永井政府委員 樺太廳ニ於キマシテハ樺太廳ダケノ租稅
徵收規則ガアリマス、地方稅ニ於キマシテハ地方稅ニ關シ
マスルコトハ今回初テ起シマスノデ、町村制施行トハ同時
ニ相當ナル規定ヲ設ケテ致シマス積リデアリマス、而シテ
樺太廳ニ於キマスル現制度ハ、地稅、酒造稅、營業稅、所得稅
ニ於キマシテハ相當ニ徵收致シテ居リマスガ、其規定ノ内
容ヲ申上ゲマセウカ——隨分此地稅、所得稅、酒造稅、出港
稅ト云フモノハ、皆ソレ——規定ガアリマシテ、内地ト大同
小異デアリマス

○松實委員 地方稅ト云フモノハ別段徵收シテ居ラヌデ、

例ヘバ北海道デ申シマスト國稅ト地方稅ト云フモノハ別ニ
ナツテ居リマスガ、樺太廳ハ特別會計デアアルカラ、一緒ニナ
テ特別會計ニ遣入ッテ居ル譯デアリマスガ

○永井政府委員 御問ノ通りデアリマシテ樺太廳ハ地方稅
ガアリマセヌデ、或ハ府縣テ言ヒマスト府縣稅、北海道言
ヒマスト道稅ノ如キモノハ未ダ起ス迄ニ達シマセヌ、總テ
特別會計ニ依リマスル各種ノ租稅ヨリゴザイマセヌ

○松實委員 序ニ御尋致シマスガ、町村制ヲ樺太廳ニ施行
シマスニハ、其大要ハドウ云フ制度デアリマスガ、大要御伺
ヒ致シマス

○永井政府委員 御答致シマスガ、樺太廳ノ町村制ハ餘程
若心ヲ致シテ制度デゴザイマシテ、大體ニ於テ特殊ノ關係
ヲ持ッテ居リマス、其大要ヲ申上ゲマシテ、樺太廳ノ町村制ハ、所有
權ノ主體タル人格ヲ認メタル點ニ於テハ、内地ノ市町村制ト
變リマセヌ、隨ヒマシテ租稅ヲ徵收スル權利、或ハ起債ヲ起
ス所ノ權利、或ハ所有ヲスル權利、或ハ公共的ノ事務ヲ起ス
所ノ關係ニ於キマシテハ、内地ノ町村制ト變リマセヌガ、主
ニ異テ居ル點ハ町村長ハ選舉ニ依リ町村長デアリマセヌ
デ、樺太廳方任命スル所ノ制度ニナツテ居リマス、ソレカラ
議員ハ評議員ト稱シテ居リマシテ、評議員モ選舉ニ依ラナ
イ所ノ評議員デアリマシテ、是モ支廳長方任命致スコトニ
シテ居リマス、尤モ任命致スニ付テハ其町村ノ民意ヲ尊重
スル意味ニ於テ大體豫選ノヤウナ形式ヲ採テ、其内ヨリ支
廳長方任命スル、ソレカラ評議員ノ決議權ニ於キマシテハ、
内地ニ於テハ直ニ決議スルノデアリマシテ、町村長ハ其決議ニ絶
對服從ノ關係ヲ持ツノデアリマスガ、樺太廳ノ町村制ハ諸
間機關ニナツテ居ッテ、總テノ議案ヲ單ニ諮問スルコトニナ
テ居ルノデ、必シモ町村長ヲ拘束スルダケノ制度ニナツテ居
リマセヌ、是ガ樺太ノ町村制ノ特色ニナツテ居リマス、隨ヒ
マシテ町村長ノ俸給ハ國家方負擔スルコトニナツテ居リマ
シテ、町村稅ヨリハ負擔致シマセヌ、其他ニ於テハ内地ノ町
村制ト少シモ變リマセヌ

○松實委員 是ハ勅令デ定メラル、ノデアリマスガ、ソレ
カラ總テ一率ニ施行スルノデアアルカ、或ハ施行スル處
モアルシ、又施行シナイ處モアル、或ハ又北海道ノヤウナ町
村制ノ中デ一級二級ト云フ風ニ行ハレテ居ル處モアルノデ
アルカ、又北海道ニ於ケル戶長役場制度ノヤウナモノヲ、今
御話ノ以外ニサウ云フ制度モ、施カレルノデアアルカ

○永井政府委員 御答致シマスガ、此町村制ハ只今申上ゲ

マシタヤウナ綱領ハ、一昨年ノ議會ニ於テ協賛ヲ經マシテ、法律ニ依ッテ出來テ居ルノデアリマス、施行規則ニ於テハ勅令其他ノ以下ノ命令ヲ以テ定メテモザイマス、而シテ町村制ノ施行ハ樺太ノ町村全體ニ施行ハ致シマス、來年度ニ於テハ町トシテ四ツ、村トシテ十九、町村制ヲ施行シタイト考ヘテ居リマス、隨テ町村制ヲ施行スルニ於テハ、樺太長官ノ見込ヲ以テ町村制ヲ施行スル區域ヲ定ムルコトニ法律ガナツテ居ル、町村制ヲ施カナイ町村ニ付テハ、從來ノ通り部落總代ト云フモノガアツテ、其村ノ世話ヲ致シテ居ル次第デアリマス、北海道ノ如ク一級トカ、或ハ二級トカ、戶長制度ト云フコトニ分レテ居リマス、部落總代ハハ單純ニ樺太廳内ニ規定シテ居ル關係デアリマシテ、法律勅令ノ關係デ起キテ居リマセ

○松實委員 評議員ノ數ハ人口ノ多寡ニ依ッテ數方違ヒマセウガ、大體ドウ云フ割合ニナツテ居リマス、ソレカラ町村制ヲ施行サレヌ所ノ町村ニ對スル行政ハ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスカ

○永井政府委員 御答致シマスガ、評議員ノ關係ハ大體内地ノ議員ノ定員足數ト略、似タ制度ヲ採ッテ居リマス、大キイ所ハ二十人乃至二十七人ゴザイマス、總テ人口比例ニ依リマシテ、略、内地ノ比例ト同等ナ方法ニ於テ評議員ノ數ヲ定メテ居リマス、ソレカラ町村制ヲ施イテ居ラス所ニ對シテハ、總テ費用ノ如キハ協議費ト云フコトデ費用ヲ取立テ、ソレニ依ッテ相當公共事務ヲ取扱ッテ居リマス

○松實委員 サウ云フ所ニ對シテハ納稅ノ成績ハドウ云フ風ニナツテ居リマス、サウシテ又其等ニ對シテハ市町村ガ滯納處分フスルヤウニ、滯納ナドニ對シテハ強制的ノ執行ガ出來ルヤウニナツテ居リマスカ

○永井政府委員 御答致シマスガ、此町村制ヲ施行シテ居リマセヌ所ノ町村、即チ部落總代ニ依ッテ扱ッテ居ル町村協議費ニ於テハ、從來モ隨分滯納ト云フモノガ無イデハナイノデアリマス、所謂租稅ヲ徵收スル、租稅ト云フ名目デナク、協議費デ徵收シテ居リマスガ、甚ダ其點ニ於テ困ツトノデアリマス、詰リ町村制施行ヲ急イダノモ其理由ノ一ツニナツテ居ルノデ、現在ノ部落ニ於テハ其點ガ甚ダ不完全デアリマス、併シ今日マデハドウニカ協議費デアルカラ德義上町村ノ住民ガ納メテ居リマスガ、若シ納メナイ者ガアルト全ク仕方ガナイコトニナツテ居リマス、甚ダ困リマシタノデ、町村制ヲ施行スルコトヲ早メタノモ其等ガ一ツノ有力ナ理由ニナツテ居ルノデアリマス

○友田委員 一寸御尋シマスガ、市街宅地稅ト云フノハ、地租トハ違フヤウデアリマスガ、尙ホ所得稅營業稅、酒造稅、醬油稅ト云フノハ、所得稅法其他ノ稅法トノ關係ハドウ云フコトニナリマスカ

○永井政府委員 地稅ニ就キマシテハ、昨年ヨリ始メタ稅デアリマスガ、是ハ大體地方ノ地價ヲ見テ、其地價ニ依ッテ何分ノ一ト云フ稅率ヲ定メテヤッテ居ルノデアリマス、ソレカラ所得稅ニ付キマシテハ、命令ヲ以テ所得稅ノ内容ヲ定メテ居ルノデアリマシテ、之モ内容ハ殆ド内地ノ内容ト似テ居リマス、營業稅ニ於テモ大體同ジデアリマス、酒造稅ニ於テハアルコトノ成分ニ依リマシテ、稅率ガ違フテ居リマス、内地ヨリ造石稅ハ少シ安クナツテ居ル次第デアリマス、醬油稅モ矢張造石高ニ應ジマシテ大體内地ト同様ノ率ヲ以テ課稅シテ居ルノデアリマス

○友田委員 只今ノ所得稅ニ付テハ、其決定ハドウ云フ方法ヲ執ッテ居リマスカ

○永井政府委員 此所得稅ニ付テハ只今迄ハ法人所得稅ダケデアリマスガ、明年度ハ第二種所得及第三種所得ト云フコトニシタイト思ヒマス、ソレデ明年度ハ調査委員ト云フモノヲ設ケテ、其調査委員會ノ決定ニ依ッテヤッテ行キタイト考ヘテ居リマス

○友田委員 其所得調査委員ト云フノハ所得稅法ニ依ル調査委員デアルカ、樺太特ニ御設ケニナルノデアリマスカ

○永井政府委員 是ハ所得稅ニ關シマスルモノハ、命令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ現行ノ規定デアリマシテ、其命令ニハ勅令ニ樺太廳令モアリマスガ、所得稅ノ調査委員ノ規定ハ、勅令ヲ以テ定ムルコトニナツテ居リマス、其勅令ノ中ニ規定サレルコトニナルノデアリマス

○友田委員 此樺太廳ニ於ケル租稅ト云フノハ、性質ハ矢張一般國稅ト同ジデアリマスカ

○永井政府委員 大體國稅ト同ジデアリマス、唯樺太廳ニ於テハ租稅ノ大體ノ項目ヲ法律デ定メテ、其項目ノ内容ニ付テハ總テ命令ニ委任シテアリマスノデ、或ハ勅令ナリ命令ナリデ定メルノデアリマスガ、大體國稅ト違ヒハアリマセヌ

アルト思ヒマスガ、私トシマシテハ——樺太長官ノ意見トシマシテハ、併合ト云フ事柄ハ北海道トシマシテモ樺太トシマシテモ、決シテ得策デナイト思ヒマス、樺太ノ今日ノ現狀カラ申シマスルト、未ダ領有後僅ニ十數年デアリマシテ、未ダ起スベキ事業モ尠クナイノデアリマス、之ヲ他ノ方面ニ併合致シテ、此拓殖行政ヲ執ルト云フコトハ非常ニ不得策デアツテ、又北海道トシマシテモ北海道ノ拓殖デスラ容易ナ事業デナイノニ、更ニ區域ヲ進メテ之ヲ一ツノ役所デ以テ支配スルト云フコトハ、決シテ得策デナカラウト考ヘルノデアリマス、樺太ノ拓殖モ北海道ノ拓殖モ共ニ進ンデ參リマシテ、是等ノ事柄ガ其緒ニ著キマシタナラバ、其制度ノ改廢モ或ハ必要カ知レマセヌガ、今日ニ於テ之ヲ北海道ノ一ノ支廳ノ如キモノトスルトカ、或ハ其他ノ方法ヲ以テヤルト云フコトハ、決シテ樺太ノ拓殖ヲ進メル所以デナイ、又北海道ノ拓殖ヲ完ウスル所以デナカラウト思フ、私トシテハ北海道ニ併合スルト云フ議論ハ決シテ得策デアアルマイト考ヘマス

○友田委員 樺太廳ニ於ケル租稅收入ノ高ト、國庫ノ負擔ニ歸スル支出トハ、ドウ云フ關係ニナツテ居リマスカ

○永井政府委員 只今ノ御尋ノ點デアリマスガ、樺太廳ニ於ケル收入ハ、一ツハ租稅カラ生ズル收入、官業財產カラ生ズル收入、官業財產ト云フノハ森林ヲ伐採スルトカ、或ハ其他土地ノ拂下ラスルトカ云フヤウナ官有財產カラ生ズル收入モアリマス、ソレカラ郵便、電信、或ハ鐵道收入ト云フヤウナモノモアリマス、或ハ印紙賣捌イテ居リマスルカラ、其收入モアリマス、要スルニ樺太ニ於ケル收入ハ、租稅、官業財產、官業カラ生ズル收入ガ主デアリマシテ、其以外ニ於テハ政府カラ貰ッテ居ル、即チ一般會計カラ貰ッテ居ル所ハ補充金ト稱シテ居リマスルモノガ、百十萬圓デアリマシテ、其他ハ樺太ノ收入ニ依ッテ居リマス、尤モ樺太ノ收入ニ依ッテ行ハレナイモノハ、公債ヲ以テ施行シテ居ルヤウナ實際デアリマス

○八田委員長 一寸私ヨリ御聽キ致シテ置キマスガ、此戶數割雜種稅ヲ町村ノ財源ヲ移スコトニナリマスレバ、樺太デ從來賦課スル財源ガ縮少サレル譯ニナツテ來マスガ、其補充ノ途ハドウ云フ方法ヲ執ラレカ、ソレガ一項、次ニ市街宅地稅、所得稅、其他掲ゲラレテ居ルヤウナ稅目ニ對シテハ、町村ハ之ニ附加稅ヲ内地ト同様ニ課シ得ルト思ヒマスガ、ドウ云フ風ニナツテ居リマセウカ、ソレヲ伺ッテ置キタイ

○永井政府委員 雜種稅及戶數割ヲ町村ニ移シマスルニ付テ、樺太廳ハソレダケノ財源ヲ失フノデアリマス、就キマシテハ明年度カラ第二種及第三種所得稅ヲ課スルコトニナリマスカラ、之デ略々、補ッテ餘リアル次第デアリマス、ソレ

カラ所得税ナリ、或ハ地稅ナリノ問題ニ付キマシテハ、是ハ町村制ハ町村ノ稅トシテ、只今ノ所國稅附加稅ト云フモノガ町村ノ賦課スルコトニナリマス、地稅ナリ所得稅ナリ、營業稅ナリハ、町村デハ附加稅ヲ課スルヤウニナッテ居リマス

○八田委員長 毛ウ一ツ伺ヒマスガ、此ニ鑛山ニ關スル鑛業稅方一寸此稅目ニナイ様デアリマス、殊ニ樺太ハ石炭石油ト云フヤウナモノガ最モ豐富ナル土地トシテ聞エテ居リマスガ、之ガ此際稅目ニ見エナイノハ、ドウ云フ譯デスカ

○永井政府委員 鑛業稅ニ關シマシテハ、鑛業稅ト云フモノノ規則ガ別ニ法律ヲ定テ居リマス、其法律デヤッテ居リマス

○八田委員長 酒造稅ニ對シテハ、附加稅ハ、町村ハ樺太ガケハ特ニ課シ得ルヤウニナルト云フコトガ、御話デアルト出来ルヤウデアリマスガ、内地ニ於キマシテハ酒造稅ニ對スルルヤウ附加稅ト云フモノハ、課シ得ナイ事ニナッテ居リマスガ、樺太ハソレヲ課セラレノデアリマスガ

○永井政府委員 是ハ間接稅ニナッテ居リマス、樺太デモ課セナイ事ニナッテ居リマス

○八田委員長 此四十年法律第二十一號中改正法律案ニ付テハ、質疑ハ別ニ無イト認メテ進行致シタイと思ヒマス

○八田委員長 次ニ大正九年法律第十二號中改正法律案、此質疑ニ移リマス、政府委員ヨリ御説明ヲ願ヒマス

○永井政府委員 此第十二號法律中改正案ハ、大體大藏省ノ所管デアリマスガ、樺太廳ノ關係ヨリ、此法律ヲ改正スル事ニナルノデアリマス、ト云フノハ、樺太ニ於テ第二種所得稅、及第三種所得稅ヲ明年度カラ課スル事ニナリマス、サウスト内地ノ所得稅法ニ十二號ガ此儘ニナッテ居リマス、改正致シマセヌデハ、内地ニモ課セラレ或ハ樺太ニモ課セラレルト云フヤウナ事デ、重複ヲ致シマスノデ、此十二號中ニ樺太ト云フ文字ヲ入レテ、重複ヲ避ケル事ニ致シタ次第デアリマス

○八田委員長 是ハ別ニ御質問モナイヤウデスネ——ソレデハ是デ質疑ヲ終ラコトニ致シマシテ、更ニ對論ト云フ事ニ致シマス、サウシテ所得稅法中改正法律案、岩本平藏君外十一名提出ノ付託ニナッテ議案ニ付テ、提出者ノ説明ト、政府委員ノ答辯トヲ聽イテ置キタイと思ヒマス

○岩本平藏君 私ハ特ニ委員長ノ許可ヲ得マシテ、本案提出ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、本案ハ既ニ四十四議會ニ提出致シマシテ、大體ノ趣意ハ其時ニ提出シタモノト少シモ變リハナイノデアリマス、唯前ノ時ヨリハ少シ條文ヲ變ヘマシテ提出シタノデアリマス、サウシテ條文ヲ變ヘマシテ理由モ、四十四議會ノ時ニ政府委員トノ間ニ質問應答ノ結果、此控除スルモノノ即チ前年ノ總收入金ヨリ必要ナル經費ヲ控除スルト云フ風ニ致シタノデ、政府委員ノ説明ニ依ルト、此買入代金ヲ加フルベキモノデアアル、或ハソレヲ加ヘナイノガ宜イノデアアルト云フ事ハ、甚ダ其點ハ明瞭ヲ缺クカラ、控除スベキモノヲ明ニ法律上ニ示セバ兎モ角、然ラザレバ是デハ少シ體ヲナサヌト云フ御話デアリマシタノデ本案ハ大體其趣旨ニ依リマシテ、此第十四條ニ於テ「山林ノ所得ハ山林伐採ニ因ル前年ノ總收入金額ヨリ其ノ植栽養成ニ必要ナル經費ヲ控除シタル金額」斯ウ云フコトニ致シマシテ、矢張山林ノ立竹木ノ儘ニ賣買移讓シタモノニ對シテノ差金ニ對スルモノニ所得稅ヲ課スル事ヲ廢メテ、矢張山林伐採ニ依ッテ、即チ其果實ニ依ル所ノ收入ニ課稅ヲスルト云フ根本主義ヲ以テ、此十四條ハ改メタイト云フノデアリマス、而シテ是ト共ニ矢張四十四議會ノ委員會ノトキノ政府委員ノ答辯ニ依ッテモ、個人所有ノ山林ヲ法人ニ移シ、若クハ法人會社ニ賣渡シテ、之ヲ伐採シタ場合ニ於テハ、ソレハ法人所得ニ移テ行クコトニナルシ、又一面ニ於テハ、賣タ方カラソレヲ取ラナケレバ、法人ニ移タモノニソレヲ取ルト云フコトハ、一ツノ資産ニ課稅スル——資本金ニ對スル課稅ト云フヤウナコトニナルカラ、其點ハ甚ダ徵收上困難、斯ウ云フヤウナ話デアリマスガ、今度法人ノモノヲ即チ第四條ノ一項ノ次へ、此通リ山林ノ所得ト云フモノハ、矢張特ニ法人所得デモ、此山林所得ニ限ッテハ第三種所得ニ準ジタル稅額ヲ賦課スルコトニ致シマシタナラバ、今ノヤウナ御心配ハ除キ得ルコトデアアルト存ジマシテ、即チ第四條一項ノ次へ、此一項ヲ加ヘル事ニ致シマシタ、斯ウ云フノデアリマシテ、要ハ矢張此理由ニ書イテアル通り、今日ノ所得稅法ハ山林ハ唯甲乙ノ間ニ移タダケニ、此一類ノ不動產ノ移轉毎ニ課稅スルト云フ事ニナッテ居ル、斯ウ云フモノハ山林ノ他ニハ決シテサウ云フ愛ハナイ、此事ニ付テ昨年色々政府委員ト質問應答ラシタ中ニモ、政府委員ニ於テハサウ云フ一種ノ例ハ營業稅ノ如キモノモ、利益ノ有ルト無イニ拘ラズ、資本金ニ對シテ稅ヲ課スルト同ジ意味デアアル、常ニ金サヘ儲テ居レバ稅ヲ課スルノハ當然デアアルト云フ意見デアリマシタガ、吾々ハサウ云フモノデハナク、所得稅ナルモノハ、ドウシテモ性質上カラ見マシテモ、資産其物ニ課稅スルノデナク、果實デアラネバナラヌ、斯ウ云フ解釋ヲ

持テマスノデ、何トシテモ此十四條第一項第三號ヲ、斯ノ如ク山林伐採ト云フ文字ヲ加ヘル、果實ニ課稅スルト云フ趣意ニ直シタイト云フ趣意デアリマシテ、此趣意ヲ以テマシテ、前年モ既ニ委員會ニ於テ、全會一致ヲ以テ、本會議ニ於テモ衆議院ヲ通過シタ譯デアリマスガ、更ニ本年ハ前年ノ議會ノ政府委員ノ御意見ノアル所ヲ參酌致シテ、斯ク明確ニ控除スベキ金額ヲ指定シマシテ、改正案ヲ提出致シマシタカラ何卒御審議ノ上可決アラシコトヲ望ム次第デアリマス、サウシテ尙ホ此機會ヲ以テマシテ、私ハ政府委員ニ二三御伺ヲ致シテ、政府ノ御意見ノアル所ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、デ私トノ間ニ前議會ノ時ノ質問應答ノ中ニ、矢張政府當局ニ於テモ、此立竹木ノ賣却ニ依ル所ノ收入ニ課稅スルハ、法律ノ本旨、山林所得ノ本態デハナイケレドモ、斯ノ如クシテ課稅シナケレバ、脫稅ヲ防止スルコトガ出来ナイ、已ムヲ得ズ現行法ニナッテ來タト云フ御意見ガアリマス、ソレデ唯タ脫稅ヲ防止スル、ガ爲ニ、法律ノ本旨本體デナクテモ、之ヲドウシテモ固守シナケレバナラヌト云フガ、今日矢張其通りノ御意見ヲ持ッテ居ラレバ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレカラ尙ホ此法人ニナッテ場合ニ、色々複雑ニナッテ計算ハ甚ダ面倒デアアル例ヘバ超過所得トカ、留保所得、配當所得ト云フヤウナ色々ナ點ニ非常ニ取扱上困難、斯ウ云フヤウナ御意見デアリマシタガ、吾々ハ矢張今日ノ立竹木ノ賣買シ、此現行法ノ如ク必要ノ經費ト云フモノニ買入代金ヲ控除スル、サウシテ行キサヘスレバ一向差支ナイト云フコトヲ政府委員ハ仰セラレテ居ルケレドモ、私ハ是ハ前年モ其事ヲ言ッテ、一ツノ大山林ヲ買入レテ、之ヲ數箇ニ區分シ、賣却シ若クハ採伐シタ場合ニ、先キノ買入代金ヲ控除スルコトハ、出来ナイト云フコトヲ、其時御話致シマシタガ、現ニ本年ハ私ノ地方ニ現貨ニサウ云フ事ガ現レタ、ソレハ決シテ少カラヌ、數年前百六十万圓程ノ山ヲ買入レタノデアアル、其中約五十萬圓位ノ部分ヲ伐ッテ、山ノ全體カラ申シマス、半分モ面積ヲ伐ッテ居ル譯デアリマス、ソコデ大キイ木ダケ伐ッテ、年々五十萬圓程ノ木ヲ伐ッテ、買入代金ヲ控除スルコトガ出来ナイ、全部伐ルコトガ出来ナイ、其山ハソレカラ何十年ノ先デナケレバ伐ルコトガ出来ナイ、所得稅ヲ取ルトシテモ、是ハ十年先マデ今日ノヤウヲ保留シテ置カナケレバナラヌ、ドウシテモ伐ル部分、其モノニ對シテ、矢張相當ノ植栽養成ニ要シタルモノヲ、是ハ矢張相當ノ計算ハ出来ルノデアアルカラ、其分其分ニ對シテ取ルノガ宜イト云ウタノハ、今日確ニサウ云フコトヲ實見致シテ居ルノデアアル、尙ホ矢張政府ハ今日其通りヲ以テシテ、サウ云フモノモ防ぎ得ラレルト云フ御意見デアアラウカ、ソレカラ又吾々ハ此事ヲ只今ノ如ク主張致シ

テ、伐採致シタ者ニ對シテ課稅ヲ致シマスノハ、次へ次へト納稅スル者ノ義務ヲ轉嫁シテ行クノデアルカラ、決シテ差支ナイモノデアル、斯ウ云フ事ヲ申シタ所ガ、轉嫁シテハ行クモノデナイ、其間ニ利益スル者モアルシ、損ヲスル者モアルカラ、轉嫁シテ行ク事ハ出來ナイト云フコトヲ御主張ニナツテガ、其轉嫁スルト云フ事ニ付テ見テモ、決シテ不都合ヲ感ジナイト云フノハ、即チ買入レテ其五年先若クハ十年先ニ伐採シテモ、其初メノ買入代金、其次ノ其差額ハ、納稅スルベキ義務ハ次へ次へト附イテ行クノデアリマシテ、殊ニ材木ヲ伐採シタトキニ於テ取ルノハ、或意味ニ於テ丁度稅額ヘ利子ヲ付ケテ納メルヤウデ、政府トシテモ取好クテ損ハナイ、又理窟カラ言テモ前ニ納メルベキ義務ヲ次ニ轉嫁シテ行クノハ不思議ナコトデモナイと思ヒマスガ、矢張今日デモ其通り御主張ナサルノデアリマセウカ、先ヅ此三四點ニ付テ御意見ヲ伺フテ置キタイと思ヒマス

○草間政府委員 本件ハ色々長イ間ノ懸案デアリマシテ、昨年ノ如キハ衆議院ニ於テハ可決セラレタノデアリマス、併シ政府トシテハ御同意ガ出來ナイト云フコトヲ明確ニシテ置イタ次第デアリマス、爾來一年間色々研究ヲ致シタノデアリマスガ、此改正ニ付テハ矢張從來ノヤウニ改正セザルヲ可トスルノ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス、デ外國ノ立法例ナドヲ調ベテ見ルト、矢張山林ヲ伐ツ場合ニ課稅スルノハ勿論デアリマスガ、伐ヲナイデ讓渡シタ場合ニモ、矢張課稅ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ亞米利加モ、獨逸モ、佛蘭西モ同様デアリマス、矢張此賣却シタ物ニ對シテモ課稅ヲスルト云フコトガ相當デアラウト思フ、元來同一ノ狀態ニ在リマス者ヲ、例ヘバ山林ガ十萬圓ナラ十萬圓ノモノガアリマス、所ガ其山林ヲ甲ナル人間ガ伐ツ、サウスレバ其處ニ十萬圓ノ一 其中ノ經費ヲ引キマスレバ、經費ニ萬圓ヲ引ケバ、八萬圓ノ所得ガアルト云フ事ニナル、又ソレヲ賣拂ヒマシテモ、矢張乙ナル人間ニ賣拂ツタトスレバ、乙ナル人間ハ矢張八萬圓ノ所得ガアル、然ルニ甲ニハ課稅ヲシ乙ニハ課稅ヲセズ、理窟ハナイと思ヒマス、兩方共ニ片方ハ一時ノ所得ト云フコトハアリマスガ、元來山林ト云フモノハ長年ノ間蓄積シテ、二十年三十年トヤツテ來テ生ヘテ來タノデアリマス、段々ニ生ヘテ來タノデアリマス、之ヲ伐ツテ所得ノ方法デアル、然ルニ甲乙共ニハ課稅シテハ課稅セザルト云フコトハ、甚ダ負擔ノ衡平ヲ得ナイト考ヘルノデアリマス、殊ニ此原案ニ依リマスルト、乙ナル者ガ伐ラズニ、丙ナル者ニ賣リマシタ場合ニ於テ、乙ナル者ハ矢張其處ニ八萬圓ナラ八萬圓ノ收入ガアルノデアリマスガ、其八萬圓ノ所得ヲ乙ニ課稅セズシテ、丙ニ課稅スルト云フコトハ、

甚ダ不合理千萬デハナイカト思フ、實際ソレヲ賣ツタ者ニ課稅セズシテ、丙ナルモノガ買ツテソレヲ伐ツト云フ場合ニ其丙ナル者ニ對シテ、乙ナル者ガ儲ケタ分ヲ纏メテ課稅スルト云フコトハ、甚ダ不合理デハナイカト思ヒマス、即チ丙ナル者ハソレヲ十萬圓デ買ツテ、ソレヲ今度ハ十二萬圓デ賣ツト云フ場合ニ於テハ、丙ナル人間ハ二萬圓シカ儲ケナイ然ルニ其場合ニ十二萬圓ノ儲ガアツタトシテ課稅スルト云フコトハ、乙丙トヲ取違フヤウナ譯ニナルノデアリマシテ、甚ダ不合理ナル課稅ニナルト考フルノデアリマス、大體是ハ法人個人ヲ通ジテノ場合デアリマスガ、更ニ今度ハ法人ニ付テハ、本年個人ト同ジヤウナ方法デ課稅スルト云フコトニ御改案ニナリマシテ、是從從來吾々ノ豫想シテ居リマシタ脫稅ト云フコトノ或ル分ハ是ハ防グコトガ出來ルノデアリマス、併ナガラ其結果トシテ先ニ申スヤウニ丙ナル會社ガ買ツタ場合ニ於キマシテハ、買入代金ハ引カヌト云フコトニナツテ居リマスカラ、個人ト同ジ筆法デヤルコトニナルカラ、結局所得ノ無イ者ニ課稅スルト云フ結果ニナリマスガ、ノミナラズ法人ニアリマシテハ實際所得ノ有ル者ニ課稅セズシテ、所得ガ無イ者ニ課稅スルト云フヤウナ非常ニ不都合ナ結果ガ出テ參ルノデアリマス、ノミナラズ所得稅ノ課稅方法ニ付キマシテ、色々不都合ナ點ガ出テ參ルノデアリマシテ、殊ニ法人ノ課稅方ニ付テ改正案ハ甚ダ不都合ナ事ト思フノデアリマス、第一此立木ヲ伐採シナイ所ノ會社ニ付テ申シテ見タイと思ヒマス、ソレハ此山林ヲ養植スルノ所ノ其經費ト云フモノハ、最後ニ伐採シタ山林所得ヲ計算スル場合ノ損金トスベキモノデアリマスガ故ニ、山林ヲ賣却シナイデ持ッテ居ル所ノ會社ニ於テハ、此養植ノ經費ト云フモノヲ損金ニシナイト云フコトニシナケレバナラスノデアリマス、例ヘバ總益金十萬圓ノ會社デアアルト致シマス、サウシテ此總損金ガ八萬圓デアアルト假定スル、其場合ニ純益ハ二萬圓デアリマス、所ガ總損金ノ八萬圓ノ中ニ一萬圓ノ山林養植ノ經費ガ入ッテ居ツタト假定スル、其場合ニ於テハ此總損金ノ八萬圓ノ中カラ一萬圓ヲ引イテ七萬圓ト假定シテ、サウシテ其會社ノ益金ニ計算シナケレバナラス事ニナルノデアリマス、デアリマスカラシテ、其會社ハ益金ガ二萬圓デアリマスケレドモ、今ノ課稅ノ方カラ言ヒマスト云フト、其中ニハ其他ニ損金トシテ計上セラレタル一萬圓ノ山林經費ガアルノデアアルカラ、其經費ハ損金ニアラズトシテ、其一萬圓ヲ益金ノ中ニ加算シテ課稅スル、所謂實際ノ會社ノ計算ハ二萬圓デアリマスガ、課稅ノ上デハ三萬圓ダト云フ事ニナラナケレバナラスノデ、甚ダ不都合ナ結果ヲ生ズルノデアリマス、ノミナラズ、其一體一萬圓ト云フモノハ、所謂架空ナル所得、ソレハ

一體何トシテ課稅スルカ、ソレヲ留保モシテ居ラナケレバ、又配當モシテ居ラスノデアリマス、ソレニ對シテ如何ニシテ課稅スルカト云フコトガ問題ニナツテ參ルノデアリマス、ソレカラ次ニハ山林ヲ土地ト共ニ賣却シタル所ノ會社ニ付テ申上ガマスレバ、立木ノ賣却代金ガ二十萬圓アル、サウシマシテ此植栽養成費ガ十萬圓デアアル、差引十萬圓ノ利益トナルノデアリマス、此場合ニ於テ差引十萬圓ト云フ者ハ土地ト共ニ賣却シタル立木ノ利益デアリマス、デアアルカラ法人ノ所得ト見ル譯ニハ行カヌノデアリマス、デアアルカラシテ其十萬圓ト云フモノハ是ハ實際ハ會社ハ儲ケテ居ルノダケレドモ、其儲ノ中カラ十萬圓ト云フ者ヲ抜イテシマツテ、之ヲ會社ニ課稅ヲシナケレバナラスト云フ事デアアルノデアリマス、假ニ其會社ノ實際ノ純益ガ五十萬圓アツタ、五十萬圓純益ガアリマシテ、其中十萬圓ダケハ所謂立木賣却ニ依リテ、ソレガ五十萬圓ノ所得ノ或ハ會社ノ積立金ニスルトカ、或ハ會社ノ配當シテ五十萬圓ト云フモノハ全部配當シテ居ルノデアリマス、所ガ其五十萬圓ノ中十萬圓、所謂二割ダケハ本來課稅スベカラザルモノデアアル、實際ノ所得ノ中カラ控除シテ、サウシテ課稅スベキモノデアアルト云フコトニ改正案ノ結果ナルノデアリマス、デアアルカラシテ其分ニ付テハ株主ガ配當所得ニ課稅サレル場合ニハ、更ニ各人毎ニ二割ヅツ引イテ計算シナケレバナラスト云フコトノ結果ニナルノデアリマス、又積立金留保所得ノ中カラ其分ダケハ控除シナケレバナラス、隨ツテ超過所得ノ場合ニ於テモ、其分ニ對シテハ控除シナケレバナラスト云フ結果ニナリマシテ、斯ノ如キハ到底所得ノ計算上困難デ實行ガ出來ナイ事ニナリマスノデアリマス、ソレカラ次ニハ立木ニ關スル所ノ收支別計算トスル所ノ結果トシテ、或會社ガ立木ヲ二萬圓デアアルレテ、之ヲ直ニ三萬圓デア賣却シタル場合ニ於ケル所ノ一萬圓ノ賣却利益金ヲ、又會社ノ所得トシテ計算スルトコトガ出來ナイノデアリマス、是ハ前ニ申シタ場合ト同ジデアリマス、ソレカラ其次ニハ會社ガ此立木ヲ伐採シタ場合ヲ考ヘテ見マスト、會社ガ立木ヲ伐採シタ場合ニ於テハ、ドウ云フ事ニナルカト申シマスト云フト、立木ノ賣却代金ガ二十五萬圓アル、所ガ其中カラ二十萬圓ダケハ買入代金デアリマシテ、二萬圓ダケハ是ハ養成費デアアル、サウシマスト云フト二十五萬圓カラシテ二十二萬圓ノ損金ヲ引キマスカラ、實際ノ所得ハ三萬圓ニナルベキ管デアリマス、所ガ御提案ノ改正案ニ依リマスルト云フト、所謂買入代金ハ引カヌ事ニナリマス、ソレデアリマスカラシテ此場合ニ損金トシテ引クノハ自分ノ養成シタ所ノ費用ガ二萬圓ト、ソレカラ假ニ自分デナイ以前ノ持主ガ負擔シタ、所ノ所謂前者ノ養

植費ヲ引カケレバナラヌ、假ニソレガ十萬圓支拂テ居ル  
トスルト、十萬圓引キマスカラ結局十三萬圓ノ所得ニナル  
ノデアリマス、所ガ實際其會社ハ幾ラ儲ケガアッタカト云フ  
ト、三萬圓シカ儲ケハナイ、三萬圓シカ儲ケハナイニ拘ラ  
ズ、所得計算カラ言ヒマス、十三萬圓ノ所得トシテ計算シマ  
スカラシテ、十萬圓ト云フモノハ利益益ナク、空ナ課税  
ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルノデアリマス、然ル  
ニ其十萬圓ト云フモノハ、會社ガ儲ケモセズ又配當モ株主  
ニ對シテセヌノデアリマス、積立金モシナイ、然ルニ所得計  
算ハ十萬圓ダケ餘計儲ケガアッタト云フコトニ計算上ナ  
リマスカラ、ソレニ對シテ株主ハ配當ヲ受ケナイニ拘ラヌ、  
株主ニ對シテ配當アリトシテ課税シナケレバナラヌト云フ  
結果ニナルノデアリマス、斯ノ如ク色々無理ナ課税ノ結果  
ニナリマスノデ、大體法人個人ヲ通ジテ色々不合理ナ結  
果ニナリマスノミナラズ、法人ニ付テハ今申シマスヤウナ  
特別ナ困難ガアルノデアリマス、此案ニハ御賛成ガ出來ナ  
イ次第デアリマス

○岩本委員 吾々ハ假ニ今ノヤウナ個人所得ノ山林ヲ法人  
ニ移シ變ヘテ、ソレヲ伐採シタ場合ニ斯ノ如ク致セバ、別ニ  
不都合ハ感ジナイト信スル、又一方ニ於テ斯ウ云フ風ニ致  
セバト云フコトニ付テ、政府ハ御同意ノ兼ルト云フコトデ  
アリマスガ、併ナガラ少シ取扱上ニ付テ、何方ニモ確ニ取リ  
ニクイ所モアリマセウガ、又先刻私ガ例トシテ御話シタ通  
リ、買入代金ヲ控除スルト言フテモ、控除シ能ハザルコトガ  
アル、十箇處買入レテ其中三箇處伐採シタト云フトキニハ、  
買入代金ヲ控除スル事ガ出來ナイ、又百町歩ノ中デ三町五  
町伐ツタトキモ、矢張買入代金ヲ控除スルト言フテモ、實際行  
ハレヌ、是ハドウカモウ少シ御考ヲ願ヒタイト思フ、根本問  
題ト致シマシテ一ノ不動産ノ移動ニ對シテ課税スルト云フ  
ノハ、恐ラク山林以外ニハ無イト思フ、此點ニ就テハ昨年モ  
政府委員ノ御答ニ依ルト、決シテ政府ノ所得ノ無イ者ニ課税  
スルノデアリナイ、或ハ果實デアラウガ資本デアラウガ、所得  
サヘ有レバ掛ケテ宜イト云フ議論ヲ爲サレタニ付キマシ  
テ、私ハソレナラバ何ガ故ニ土地家屋ノ自然増加ニ對シテ  
所得稅ヲ取ラヌカ、斯ウ云フ事ヲ御尋シタ所ガ、定期取引ト  
カ若クハ土地ノ自然増加ト云フモノハ、一遍ノ賣買ノミデ  
之ニハ課税スルモノデアリナイト云フ御話デアッタ、山林ナルモ  
ノハ年中賣買スルノガ商賣ノヤウニ御答ニナッテ居リマス  
ガ、吾々ハ寧ロソレニ反對ノ意見ヲ持ツ、株式取引ナドト云  
フモノハ定業ニ致シテ居ル者ガ多イ、山林ノ方ハ大キイ山  
林ニ於テハ毎年賣拂ヒ、或ハ伐採シテ居ルケレドモ、中産以  
下ノ山林家トシテハ一種ノ換價、即チ土地ト共ニ賣拂フ場  
合ハ、土地ヲ金ニ換ヘルダケデ、之ヲ定業トシテ居ル者ハ少

イト思フ、其唯換價スルモノニ對シテ課税スルト云フコト  
ハ、何ト考ヘテモ不當デアル、定期取引若クバ家ヲ澤山建テ  
、賣買ヲ定業ノヤウニヤッテ居ルト云フ者ニ課税スルノハ  
當然デアッテ、ソレト比較シテ、山林ニ對シ二十年二十年經  
テ、僅カナ立木ヲ取引シタノニ對シテ、ソレニ差金ガアルカ  
ラト言フテ課税スル、又次ニ賣買スル差金ガアルカラト言  
テソレヲ取ル、ソレデ損シタ場合ニ政府ガ賠償ヲ呉レル  
ノデアリナイ、火事ニ遭ウテモ、若クバ暴風ニ遭フテ山ガ壞レ  
タト云フ場合ニ於テ、初メ有價値トシテ賣買ニ當リ稅ヲ  
取り、根本ガ潰レテシマッタトキニモ之ヲ還附シナイト云フ  
事ハ、今日ノ法文ガ決シテ完全無缺ナリトハ言ヘナイト思  
フ、ソレカラ先刻モ海外ノ立法例ニ付テ御話ガアリマシタ  
ガ、吾々ノ聞ク處ニ依レバ、植村林學博士ノ話ニ、獨逸ノ或  
ル州ニ於テハ、山林ガ土地ニ定着シテ居ル間ハ財產ト見テ  
居ナイ、課税モシテ居ラヌ、之ヲ伐テ初テ財產ト見ル、ソ  
レハ何故デアアルカト云フト、是ハ唯一時假定ノモノデア  
テ、千年万年經テモ伐採シナカッタ腐テシマフ、之ヲ伐  
テコソ初テ財產デアアル、土地ニ着イテ居ル間ニ財產ト見ル  
ノバ間違ヒダト云フ學說ヲ唱ヘテ居ル人モアルト云フコト  
ヲ植村博士カラ聽イタ、ソレカラ見ルト一面ニ於テハ有價  
値トハ言ヒナガラ、一方ニ於テハ無價値ト言フテモ宜イ、ソ  
レニ對シテ課税スルト云フコトハ、資材ノ動イタモノニ對  
シテ課税スルト云フコトニナルノデ、所得稅ノ本來カラ考  
ヘレ見テ何トカ之ヲ改正スルコトガ至當デアラウト信スル  
ノデアリマス、矢張政府ハ昨年ト同様、山林ノ賣買ニ對シ  
個ノ定業ノ者ノ如ク、物品賣買業ト同様ニ、差金ガアレバ課  
税スルト云フ御意見デアリマス

○草間政府委員 先刻經費ノ控除ラシテ居ラヌト云フコト  
デアリマスケレドモ、私共ノ調ベタ所ニ依ルト、控除ラシテ  
居ル結果ニナッテ居ル、殊ニ數十年ヲ限ッテ輪伐ト申シマス  
カ、サウ云フヤウナ場合ニハ、必シモ此控除ハ不可能デア  
ナイ、買入價額ト其輪伐シタ部分ニ按分シテ、經費ヲ調査ス  
ルト云フコトハ不可能デアリナイ、デアルカラ其計算方法ガ善  
イカ惡イカト云フコトハ別問題トシテ、控除ガ出來ヌト云  
フ斷定ハ下サレヌト思フ、箇々ニ一本一本ノ調査ハ出來ヌ  
カモ知レマセヌガ、之ヲ遠觀シテ一定ノ標準率ヲ置イテ、自  
分デ養植ラシタモノヲ伐ツ場合ハ幾ラ、他人カラ出タ場合  
ハ幾ラ、若ハ材木ノ種類ニ依ッテソレソレノ標準率ヲ作ルト云  
フコトモ、不可能デアリナイカラウト思フ、要スルニ方法ノ如キ  
ハ色々アラウト思ヒマス、尤モ多數ノ中ニハ取扱者ノ錯誤  
ノ爲ニ控除セズニ課税シタモノガ、絕對ニ無イトハ申シマ  
セヌケレドモ、大體ニ於テ控除シ得ルト信ジテ居ル、ソレカ  
ラ今ノ株券ノ賣買トカ云フモノニ對シテモ、課税シテ居ラ

ラヌト云フコトデアリマスガ、併ナガラソレハ課税シテ居  
リマス、現ニ仲買ニ致シマシテモ、其他友人デアリマセヌデ  
モ、客筋デアリマシテモ、ソレヲ定業ニシテ居ル者ニ對シテ  
ハ、米デモ株デモ其他ノ物デモ課税シテ居ル、ガ私共ノ山林  
ノ賣却ニ對シテ課税スルト云フ意味ハ、必シモ賣買ヲ定業  
ニシテ居ルト云フ意味ニアラズ、ソレニ課税シヤウト云フ  
ノデアリマス、即チ山林ト云フモノヲ養植スルコトハ、多年  
掛テ居ル、ダカラ謂ハバ毎年株ノ如キハ課税スルカモ知レ  
マセヌ、併ナガラ木ノ如キハ或ハ五十年ニ普通伐ルト假定  
致シマシテ、初メノ一年ハ幾ラ、其次ハ幾ラト、上ニナレバ  
ナル程高クナルト云フ計算ラシナケレバナラヌ、中々調査  
ハ困難デアリマスカラ、多年ノ所得ヲ、伐ツタ時ニ木ニ課  
ルト云フノデ、決シテ是ハ一時ノ所得ト行クマイト思ヒマ  
ス、伐ツタノハ一時デアリマスケレドモ、ソレハ所得稅トナ  
テ居ルノハ一時デアリナイ、私共之ヲ課税シテ宜カララウト  
思ッテ居リマス

○松實委員 私人質問ガアリマスガ午後ニ致シマス  
○八田委員 午後八時後一時カ  
午後零時二分休憩

午後一時五十分開議

○八田委員長 是ヨリ開會致シマス、午前ニ引續マシテ岩  
本君提出ノ所得稅法中改正法律案ノ質疑ヲ繼續致シマス  
○松實委員 山林所得ニ關係スル稅額ハ何程アルノデアリ  
マセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマスガ、全體山林事業ト  
云フコトハ餘程困難ナ事業デアリマシテ、中々二十年二十年  
ノ内ニ其結果ヲ見ルト云フコトハ容易デナイ、五十年乃至  
百年二十年ト云フヤウナ長年月ノ間デナケレバ、其結果  
ヲ見ルトハ出來ナイノデアリマス、而シテ此山林ト云フ  
コトハ私ガ申上ゲル迄モナク、山林ノ經營ト云フコトハ國  
土保安ノ上ニ於テ重大ナ關係ヲ持ッテ居ルト思フノデア  
リマス、或ハ治水ノ上ニ於テモ非常ナル關係ヲ持ッテ居ルト云  
フヤウナ事デアリマスルカラ、山林經營ニ對シテハ中央政  
府並ニ地方政府ニ於テモ、相當保護獎勵ヲ加ヘツ、アルト  
信ジテ居リマスガ、此山林所得ニ關係シタ稅額ヲ國庫ニ納  
ムル金ハ何程デアリマスガ、其稅額ハ存ジマセヌガ、寧ロ斯  
ウ云フヤウニ一方ニ於テ保護獎勵ヲ加ヘテ居ルシ、國土保  
安其他治水ト云フヤウナコトニ重大ナル關係ヲ持ッテ居ル  
モノデアリマスカラ、吾々ハ寧ロ斯ウ云フ稅金ハ取ラヌ方  
ガ宜イデアリナイカト思フノデアリマス、先刻提案者ト當局  
者トノ説明ヲ聽イテ見マスルト、實際上賦課ノ上ニ於テモ  
中々復雜デアアルヤウニ思ハレル、例ヘバ先程若本君申シ  
テ居ラレマスルガ、五十萬圓ニ假ニ買ウタモノモ、其内デ樹

齡ニ依テ伐採ノ樹齡ニ達シテ居ルモノモアレバ、何十年ト云フ間待テ居ナケレバ伐採スルコトガ出來ナイト云フヤウナ、ソレガ而モ同シ樹齡ガ例ヘバ二十年經テ樹齡ガ何程、十年經テ樹齡ガ何程、五年ノモノガ何程ト云ウテ、明レドモ、廣イ面積ノ内、樹齡ノ如キハ殆ド一様ニナツテ居ラヌノガ多イデアリマスカラ、之ヲ實際ニ徵稅スル上ニ於テ餘程困難ナ事情ガアラウト思ヒマス、政府委員ノ御話デハ、左マデ困難デナイト云フヤウデアリマスガ、吾々ノ考ヘデモ實際問題トシテ一番面倒デアラウト思ヒマスカラ、斯ウ云フモノハ取ラヌ方宜カラウト考ヘマスガ、此點ニ付テ政府當局ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○松本政府委員 只今松實君カラノ御質問ノ、山林ハ國土保安ノ上ニ於テモ、或ハ治水ノ上ニ於テモ大切ナモノデアリナイカト云フ御話デアリマシタガ、此點ニ付テハ私共同感ニ存ジテ居リマス、而シテ山林ヨリ生ズル所得額並ニ所得稅金ハ幾ラカト云フ御尋デアリマスガ、最近即チ大正十年度ノ實績ニ依リマシマスレバ、山林ノ所得ガ七千五百七十六萬六千圓ニナツテ居リマス、之ニ對スル稅額ガ三百萬六千圓デアリマス、ソレデ所得稅ノ總額ガ約二億圓デアリマスカラ、山林ノ所得ガ總所得稅額ノ約百分ノ一五位ニナツテ居ルト思ヒマス、隨テ餘リ大シタ所得デアリマシマスセケレドモ、併ナガラ矢張主要ナル所得ノ一タルコトハ失ヒマセヌ、山林ハ大事ナモノデアルト云フコトハ、先程モ御話ノアリマシタ通り御同感デアリマシマス、併ナガラ租稅ヲ減ジテマデモ保護シナケレバナラヌト云フコトニ付テハ、特ニ考慮ラシテ居リマス、例ヘバ保安林ノ如キハ地租ヲ免ジテ居リマス、併ナガラ尙モ所得ガアル以上ハ、矢張一種ノ資產ヨリ生ズル所得デアツテ、其點カラ申シマシマスレバ、他ノ所得ト異ニタコトガアリマセヌカラ、之ヲ全部免除ト云フヤウナコトハ必要ハナカラウト考ヘテ居リマス、山林所得ノ課稅方ニ付テハ、本案ノ所得法ノ改正ニ依リマシテ、從來ヨリハ餘程緩和セラレタ形デアリマス、ト云フノハ從來ハ山林ノ所得ト普通ト所得ト合算シテ、累進率ヲ適用シテ居リマシタガ、併ナガラ山林ノ所得ハ一年二年ノ短キ期間ニ於テ生ジテ來ルモノデアリナイ、數年數十年蓄積シテ山林ノ所得ガ生ズルモノニアラカラ、ソレヲ他ノ所得ニ合算シテ累進率ヲ適用スルハ、穩當ヲ缺クト云フ見地カラシマシテ、山林所得ヲ他ノ所得ト合算セズ、山林所得ノミニ付テ適用スル事トナリマシタノデ、幾分緩和セラレタコトニナツテ居リマス、其手續方面倒デアリカラ之ヲ廢止シヤウト云フヤウナ考ハ、今ノ所デハ持ッテ居リマセヌ、尤モ之ガ何カ簡單ナル方法、而モ他ノ所得ニ對シテ權衡ヲ失ハナイヤウナ課

稅方法ガアリマシマスレバ、是ハ相當ニ考慮致シマスガ、目下ノ所當局トシテ他ニ適當ナル考ハ持ッテ居ラヌノデアリマス

○松實委員 大體ノ根本方針ニ付テ、私ノ申シタコト、違ッテ居リマスガ、ソレ以上ハ議論ニナリマス、申シ上テマセテ、續イテ伺ヒタイノハ、先刻提案者タル岩本君カラ改正ノ理由ヲ申述セラレ、且ツ政府委員ニ質問シタトキ、當局ノ反對ノ一理由トシテ、伐採シタトキニ許リ課稅スルト云フコトニナレバ、其以前ニ賣買シタモノ、總テノ稅金ヲ、最後ニ伐採シタ人ガ負ハナケレバナラヌ、ソレハ最後ノ人ハ非常ナ儲ケモ無イニ拘ラヌ、多大ノ課稅ヲ受ケナケレバナラヌカラ、ソレハ甚ダ不公平ト云フヤウナ意味ノ御話デアツタ例ヘバ十萬圓デ甲カラ乙ガ買ヒ、乙ハソレヲ伐採シテ十二萬圓デ賣ル、サウスルト實際乙ノ儲ケタ所ハ二萬圓ダケデアアル、然レニ其課稅ハ十二萬ノ課稅ヲ受ケナケレバナラヌ、色々經費ヲ引クトモト額ハ減スルカ知レマセヌガ、大體サウ云フ意味ノ御話デアツタト思ヒマス、ソレハ不公平ヲ取扱デアルト云フコトデスガ、併シ買受ケル者ハ、其木ヲ伐レバ是ダケノ所得稅ヲ出サナケレバナラヌト云フコトヲ、算盤ノ中ニ置イテ買受ケルモノデアツテ見レバ、別段不公平ナル課稅デモナイト思ハレマスガ、其點ハドウデスカ

○松本政府委員 其點ニ關シマシテハ午前中ニ質問應答ガアツタヤウニ承ツテ居リマス、説明ハ盡キテ居ルト思ヒマスガ、尙ホ私カラ念ノ爲ニ申上ゲマス、最後ニ伐採シタ人ニ所得稅ヲ課スレバ、其伐採シタ人ハ伐採ニ依ツテ得タル所得金額全部ニ對シテ、所得稅ヲ課セラル、ト云フコトヲ覺悟シテ居ルナラバ、差支ナイデアリナイカト云フ御話ノヤウニ承知致シマス、之ヲ租稅上ノ術語ヲ以テ言ヒ現シマシト、詰リ租稅ノ逆轉作用ガ行ハレル、租稅ノ負擔ヲ轉嫁セシムルト云フコトニナルト思ヒマス、尤モ租稅ノ術語ニアリマス通り、租稅ハ其賦課シタ人ガ支拂フケレドモ、結局他ノ者カラ支拂ハシムルト云フヤウニ、租稅ノ轉嫁ハ有リ得ル事實デアリマス、併ナガラ此山林所得ニ對シテハ、所謂此租稅ノ逆轉ハ行ハレナイ場合ガ多カラウト思ヒマス、何故ナレバ、甲ナル人ガ乙ナル人ニ山林ヲ賣ルト云フ場合ニ於テ、其乙ナル人ハ何年經テカラソレヲ他ニ轉賣スルカ、將又何年經テカラ之ヲ伐採スルカ、其期間ノ定ラヌコトニ依ツテ、伐採スル所得モ、轉賣スル所得モ、到底最初ノ賣買ノトキニハ豫想ガ著カヌト思ヒマス、三年經テ他ニ轉賣シタ所得ト、二十年經テカラ轉賣若クハ伐採シタ所得ト、金額ニ差ノアルコトハ、勿論ト思ヒマス、ソレデ當初他ノ人カラ買受ケルトキ、何年經テ賣ラウト云フコトハ到底豫想ガ著カヌト思ヒマス、或ハ三年經テ賣ラウトシテ買ウ人モアリマセウガ、其當時ノ木材ノ價格トカ、經濟界ノ模様ト云フヤウ

小事ニ依テ、三年經テ賣ラウト思フタモノガ、二十年經テ賣ルモノモアリマセウ、何年經テ賣ルカ又其價格モ分ラヌ、隨テソレニ對シテ、位ノ所得稅ガ掛ルカト云フコトモ豫想ガ著カヌト思ヒマス、斯様ナ狀態デハ、其租稅ノ如何ニシテ前者ニ逆轉セシムルコトガ出來ルカ、ソレハ出來ナイト言ハザルヲ得ナイノデアリマス、租稅ハ逆轉作用轉嫁作用ガ行ハレ得ルシテアリマスガ、山林所得ニ付テハ事實上、サウ云フ轉嫁作用ガ行ハレナイモノト、吾々ハ信ジテ居ル次第デアリマス、或ル場合ニ付テハアルカモ知レマセヌガ、先ツ山林所得ニ付テハ、所得稅ノ轉嫁作用ガ行ハレナイノガ大部分デアルト斯様ニ見テ居リマス

○松實委員 是ハ實際稅務署ノ仕事デ、大藏當局ニハドウカト思ヒマスガ、山林ヲ買受ケ山林ノ一部分ヲ伐、テソレヲ賣拂ツ、詰リ伐採ラシタ、サウ云フ場合ニ山林ノ所得、又所謂前年カラ何ト申シマスガ、養植トカ——植栽養成若クハ買受代金ヲ分ツノニハドウ云フ風ナコトヲ以テ分テ居ルノデアリマスガ、實際ニ付テ一々山ニ付テ稅務署ガ調べテ、サウシテ是レハ元ドレ位掛テ居ル、依テ是ダケノモノハ引ク、サウ云フ風ニシテ山林ノ所得ト云フモノヲ割出シテ居ルノデアリマスガ、實際問題トシテハドウ云フ風ニ扱ツテ居ルノデアリマスガ、ソレヲ御伺ヒシタイ

○松本政府委員 或人ガ或山林ヲ買受ケテ置イテ、一定年限ヲ經過シタ後ニ、其山林ノ一部分ヲ賣渡ス、若クハ、伐採シマシタトキノ所得ノ計算上、其買受代金若クハ其山林ノ養成費ヲ如何ニシテ控除スルカト云フ御尋ト承知致シマスガ、此算定ニ付テハ先以テ當事者ノ申告ニ依リマシマス、其申告ガ相當モノト認メマシマスレバ、其申告ニ依ツテソレハ決定シマス、併シ申告ガ不正當ト考ヘラレマシマスレバ其時ハ稅務署ノ方ニ於テ其山林ヲ買受ケタトキノ價格ヲ根據トシマシテソレカラ後一定年間ニドレダケノ養成費ヲ投ジタカト云フ事ヲ、ソレノ算定シマス、ソレカラ又一部分ヲ賣、タト云フ場合ニ於テハ、全部ノ買受代金ト一部分ノ買受代金トヲ、ソレノ面積ニ依ツテ按分シテ算定スル、斯ウ云フ風ニシテ調べ上ゲル、併シ稅務署ノ調査デハ不完全ナ點モナイトモ限リマセヌガ、兎ニ角サウ云フ風ニシテ案ヲ作りマシテ、之ヲ御承知ノ所得調査委員會ニ附議シマシテ、能ク所得調査委員會等ノ研究詮議ヲ經テ、而シテ之ヲ決メルト云フコトニナツテ居リマス

コトニシマス、ツイ中告漏ト云フコトモアリマス、又不  
正當ノ申告モ有リ得ルコトデアリマス、カ、稅務署ノ方デ  
ハ平素山林ノ賣買トカ、或ハ伐採ガアリハセヌカト云フコ  
トニ付テ、能ク管轄區域内ノ實況ヲ調べテ居リマス、若シ賣  
買ガアツタトカ、或ハ伐採ガアツタト云フコトヲ知リマス、  
其關係者ニ就テ直接調査スルコトモアル、或ハ關係者以外ノ  
第三者ニ就テ、例ヘバ材木屋ニ就クモアル、或ハ其他ノ商人ニ  
就テ、サウシテ實地ヲ成ベク正確ニ調査スル、而シテ其材料  
ヲ掘ツテ置ケ、而シテ後ニ申告ガ出マシム、其申告ト對照  
シテ見テ、其當否ヲ判斷スルコト云フコトニナリテ居リマス、  
其管轄内ニ山林ノ賣買ガアツタト云フコトヲ聞キマシタ場  
合ニ、稅務署ノ官吏ガ事實其場ニ行ッテ見ルコトモアリマス、  
又見ズトモ凡ソノ狀態ガ話ヤ何カニ依ッテ分リマス、レバ見  
ナイデシマフコトモアリマス、是ハ其時々ノ實況ニ應ズル  
コトデアリマス、カ、一概ニ申上ゲ兼ネマス、必ズ山ヲ見テ  
ヤルト云フコトニナリテ居リマス。

○松實委員 府縣ノ山林ハ大抵同ジ年ニ植林スルノデア  
リマス、カ、木ノ生ヘ方モ凡ソ揃ッテ行クデアラウト思ヒ  
マス、ガ、例ヘバ北海道ノ如キ天然ノ土地デアラウト思ヒ  
レバ天然ノ樹木ガ生ヘテ居ルト致シマス、例ヘバ百町  
歩ノ中本當ノ良イ木ノアルノハ十町歩カ二十町歩シカナイ  
後ハ殆ド樹木トシテ見ルベキモノハナイケレドモ、後イモ  
ニナリマス、百町歩ナラ百町歩ヲ買受ケテ置イテ、サウシ  
テ十町歩トカ二十町歩トカ云フ密林ノ所ダケヲ伐ッテ賣ル、  
斯ウ云フヤウナ場合ガアルトスレバ、後ハ無價値ノモノニ  
ナリテシマフコト云フ時分ニ當ッテ、ソレ等ノ事ハ中ニ稅務署  
ナドデ一々取締ナンカハ出来ナイモノデアラウト思ヒマス  
ガ、是ハマア一々コナ事ヲ舉ゲテ御話シタ所ガ追付カナ  
イケレドモ、實際ノ課稅上ニ付テハ隨分面倒ト思ヒマス、ガ、  
サウ云フヤウナ例ハ嘗テ無イモノデアラカ、其人ハモウ山  
ヲ伐ッテシマヘバ無財產ニナル、今後ハ他ノ財產ニ掛ッテ處  
分シヤウト思ッテモ何モ無イト云フヤウナ者方往々ニ有リ  
得ルト思ヒマス、ガ、實際ニ於テ今日モ無イモノデアリマセ  
ウカ、ドウデアリマス。

○松本政府委員 只今ノ御質問ハ所得稅ノ課稅ノ問題ニド  
ウ云フ關係ヲ持ッテ居ルカト云フコトノヤウデアリマシタ  
ガ、一寸今一遍御説明ヲ願ヒマス。

○松實委員 先刻御話シタ部分ノ賣却ノ伏採ノ事デアリマ  
ス、一部分ヲ伐ッテシマツタ、其一部分ダケニ所得稅ヲ課稅ス  
ルト云フ御尋デアリマシタガ、サウスルト一部分ノ一番良  
イ所ダケヲ伐ッテシマツタ、後ト例ヘバ百町歩買ッタクツレバ  
九十町歩ダケ殘シテ置イテ、十町歩許リ良イ密林ダケヲ伐  
テ後ヲ殘ス、併シ殘シタモノハ全然無價値ノ土地デアリ、木

モ無イト云フヤウナコトガアル、所ガ其場合ニ當ッテ、先刻  
ノヤウナ面積ニ按分比例ノヤウニシテ課稅ノ率ヲ定メルト  
云フコトニナルト、其所ニ一ツノ不正ガ行ハレテ來テ、取締  
方法ガ付カナイデハナイカ、斯ウ云フ處カラ御尋ラシタノ  
デアリマス。

○松本政府委員 分リマシタ、只今御示ノヤウナ例デゴザ  
イマシタナラバ、單ニ地面ノ面積ニ按分スルト云フコトハ  
宜シクナイコトデアツテ、現ニ伐採シマシタ所ノ部分ノ、其  
數量ニ依ッテ所得額ヲ算定スベキデアル、言葉ヲ換ヘテ言ヘ  
バ、殘タモノハ山林トシテハ價値ガナケレバ、他日ソレヲ  
賣渡シテモ、其時ニハ所得ハ無イト云フコトニナルカラ、一  
向差支ナイノデアラウト思ヒマス。

○村山喜一郎君 政府委員ノ御意見ヲ一寸承リタイノデア  
リマス、ガ、大體此案ハ昨年モ岩本君カラ矢張提案ニナリマ  
シタ趣意ニ依ッテ出來テ居ルノデアリマス、唯條文ガ前年度  
ヨリモ其意義ヲ明確ニスル意味ニ於テ、多少文字ヲ加ヘタ  
ト云フニ過ギナイノデアリマス、ガ、私ハ此岩本君ノ提案ニ贊  
成スル一人デアリマス、ガ、之ニ對シテ政府ガ反對ノ御意思  
ヲ先刻表明サレテ居ル、大體此案ノ趣旨ハ、先刻岩本君カラ  
大分色々御話ガアツタガ、約メテ言フト立木ノ儘賣買セラレ  
タルモノニモ課稅スルト云フ現行法ヲ改メテ、山林所得ト  
云フモノハ伐採ノ時、一期ニ伐採セラレテ居ル時期ニ其モ  
ノ課稅スル、斯ウ云フコトガ改正ノ一ツ、ソレカラ昨年政府  
委員ガ最モ突込シタ所ノ、サウ云フ風ニ改メルト云フト、悉  
ク脫稅ノ方法トシテ法人組織ニナリテシマフ、サウ云フ場合  
ハドウスルカト云フコトニ付テ、茲ニ前項所得中山林ノ所  
得ハ之ヲ山林以外ノ所得ト區分シ三種山林所得ニ準ジタ  
ル稅額ヲ賦課スル之ヲ約メテ言ヘバ、法人ト雖モ山林ノ專業  
トスルモノハ、個人ノ所得ニ準ジテ取扱フコト云フコトノ二  
ツガ改正ノ主ナル點デアリマス、無論是ハ完全ナル何等取  
理ノ無イモノダト私ハ思ヒマセヌガ、少クとも現行法ニ比  
較シテハ、進歩セル徵稅事實ノ上ニ於テ極テ簡單ナルモノ  
手數方頗ル省ケル、斯ウ云フコトヲ私ハ認メルノデアリマ  
ス、先ツ現行法ノ一番私共ガ困ルト思フコトハ、昨年モ御尋  
シタノデアリマス、ガ、此立木ノ儘賣買セラレ、ト云フコト  
ニ於テ、茲ニ一ツノ假定ヲ置キマス、五十年ノ樹齡ノモノ  
ヲ今伐採シタト假定シマス、ソレガ成育シテ伐採セラレ  
マデノ間、甲乙丙丁戊、此五人ノ手ニ依ッテ、甲八十年間所  
有シテ居ル、乙二十年間所有シ、丙丁モ各十年間所有シテ居  
タ、五人目ノ戊ノ手ニ渡ッテ、ソレガ伐採セラレテ金ニナツタ、  
斯ウ云フ時ニ甲ハ乙ニ幾ラニ賣渡シタ、乙ハ丙ニ幾ラニ賣  
渡シタ、丙ハ丁ニ幾ラニ賣渡シ、最後ノ丁ハ戊幾ラニ賣  
タカ、此中間ノ賣買セラレ、所ノ價格ト云フモノヲ、如何ニ

シテ此稅務當局ハ之ヲ知り、且又稅務當局ト當事者間ニ爭  
ノアル場合ニ於テ、之ヲ證明スル方法ハ如何ニスルカ、三年  
五年ノモノハ之ヲ知ル事ガ出來ルガ、今ヨリ遡ッテ十年以上  
二十年三十年モ前ニ賣買セラレタル眞實ノ價格ト云フモ  
ノヲ、如何ヤウニシテ見出スノデアラウカ、是ハ徵稅事實ノ  
上ニ於テ、ドシナ方法ヲ執ッテ居ルカト云フコトヲ疑ハシク  
思フノデアリマス、現ニ自分等ガ此所得稅調查會ニ昨年來  
臨ンデ、山林所得ノ算定ニ付テ私共稅務當局ニ尋ネル、  
如何様ニシテ此所得ヲ算定シタカト言ヘバ、例ヘバ伐採  
セラレタル所ノモノハ、本人自身ガ自ら育成養成シタデア  
ラウカ、又ハ何年前ニ他カラ買受ケテデアラウカ、買受ケタ  
トスレバ、其價格ハ幾ラデアラウカト、サウ云フヤウナ調査  
ヲスレバ、無論本人ノ申告ガアレバ之ハ格別デアリマス  
ケレドモ、申告ガ無イノガ大部分デアラカ、之ヲ如何様ニシ  
テ調査ラシタカト云フ事ヲ尋ネテ見マス、レバ、ソレハ地元  
ノ役場ニ於テ大體ニ於テ誰某方幾ラ木ヲ伐ツタト云フコト  
ハ、役場ニ付テ金ヲ算定シタ、ソレハ三年前五年前ニ買受ケ  
タト云フ役場ノ簿帳ヲ見テモ分ル、ケレドモ二十年三十年  
前ニ其人ガ買受ケタモノニ付テ、ソレハ調ベル材料ハ無イ  
カラ、買受ケタ買受ケタカ、サウ云フ事ニ付テ十年以上モ經ツト  
分ラヌト云フコトヲ言ッテ居ル、ダカラ此意味ニ於テ立木ノ  
儘賣買セラレタルモノハ、採伐ノ時ニモ課稅セラル、シ、又  
立木ノ時ニモ課稅セラル、シ、此買受代金ヲ見出ス方法ガ、  
實際ニ於テ餘程面倒ナモノデアラウト云フヨリハ、寧ロ出  
來得ナイト思フ、二十年四十年前ノモノヲ調ベルト云フ  
コトハ出來ナイ、ソコデ此點ニ付テ如何様ニシテ正確ナル  
モノヲ見出スカト云フコトヲ先ツ伺ヒタイノデアリマス、  
是ガ第一デアリマス、ソレカラ其次ニハ土地ト立木ヲ賣買  
セラレルトキニ於テ、如何様ニシテ土地ノ價格ガ幾ラ、立木  
ノ價格ガ幾ラト云フコトヲ、ドンナ風ニ一體分離シテ之ヲ評  
價スルデアラウカ、之ヲ第一ニ承リタイノデアリマス、其實  
例ヲ言ヘバ斯様ナモノガアル、私ガ二十年程前ニ土地立木  
共ニ或金額ヲ以テ買受ケタ、ソコデ現在自分ハ土地ヲ所有  
シテ居リ、立木ノミヲ伐採シテ人ニ賣ツタ、此時ニ於テ二十  
年前デアリマス、カ、其時ニ土地ニ立木ガ成立シテ居タ  
モノヲ自分ガ買ッタノデアラウカ、土地ノ價格モ立木ノ價格  
モ二十年間今日ト比較スレバ、無論經濟上ノ變化時勢ノ  
變化ニ依ッテ變動ハアリマス、ガ、假ニ十割ノ騰貴シテモ、  
土地ノ價格ハ十割騰貴シタ、立木ノ價格モ十割騰貴シタ、私  
ガ土地立木共ニ之ヲ賣ツタト云フナラバ、直ニ茲ニ差益ガ幾  
ラデアルト云フコトガ分ルガ、土地ノ價格ノ騰貴ノ比例ガ、  
立木ノ價格ノ騰貴ニ比例シテ、決シテ何時デモ同様ナモノ  
デナイノデアリマス、土地ノ價格ハ或期間ニ於テ十割騰貴

シタガ、此立木ハ却テ反對ニ三割モ低下シタト云フヤウナ  
事ガアル、斯様ナ時ニ於テハ一體如何様ニシテ其差益ト云  
フモノヲ算定シテ宜シイノデアアルカ、土地立木共ニ買受ケ  
テ、土地立木共ニ賣ツタモノハ直ぐ差益ハ分ルケレドモ、二  
ツ買受ケタトキニ、サウシテ一ツ賣リナイトキニ、其間ノ價  
格ノ變動ガ一方ハ五割騰貴シ、一方ハ十割騰貴シタ、或ハ三  
割低下シタニ拘ラズ、一方ハ二十割騰貴シタト云フコトハ  
ナイトハ言ハレナイノデアリマス、此算定ノ一體如何ニス  
ルカ、之ヲ先ツ承リタイノデアリマス、ソレカラ前刻松實サ  
ンノ北海道ノ林野ニ付テ御話ガアリマシタガ、是ハ如何ニ  
モ松實君ノ御尋ハ相當デアリマスと思ヒマス、内地ノ人爲  
植裁ニ依ル方正林ハ面積及材積等大體ニ於テサウ違ハナイ  
ノデアリマス、北海道ノヤウナ天然ノ原生林ヲ買受ケ、之ヲ  
伐採スルト云フトキニ於テ、連モ一目シテ一町歩ニ付テ幾  
ラ木ガ立ッテ居ルカ、何年位ノ木ガ立ッテ居ルカト云フ規則  
立ッテモノデアリマス、全ク一部分ノ伐採ト云フヤウ  
ナトキニ於テハ、其算定ノ方法ト云フモノハ極テ困難ト云  
フヨリハ、出來得ナイと思フ、徵稅事實ノ上ニ於テ、單ニ納  
稅者ノ申告ヲ基礎トシテ、ソレヲ信ジテ課稅スルト云ヘバ、  
是ハ單純デアアリマスルケレドモ、ソレト意見ヲ異ニスル、  
サウシテ當局ガ其所得額ヲ算定スルト云フ事ハ、他ノモノ  
ト違ッテ連モソレハ容易ニ分リ得ルモノデアハナカラウト思  
フ、若シヤッテ居ルトスレバ、唯帳面ノ上ニ於テ何々ト云フ  
居ルケレド、實際ノ納稅者ノ見テ居ル所ノ不公平ト云フモ  
ノハ、頗ル深酷ナモノデアアラウト思フノデアリマス、ドチ  
カラ見テモ、若シ全廢出來ルナラバ、結構デアアルケレドモ、  
一番所得稅ノ中ニ於テ不公平ナモノハ、山林所得ニ在ルト  
思ヒマス、第一第二ノ質問ヲ伺ッテ置キマス

○松本政府委員、只今松山君ノ御質問ノ序言トシテ、大體  
山林ノ所得ニ付テハ、岩本君ノ提出セラレタル所得稅改正  
案ハ可ナリト信ズルモノデアアルト云フ御話デアリマシタガ、  
私共ハ之ニ御答ラズルニ先ツテ、其緒言トシテ岩本君ノ提案  
ニ反對ノ意思ヲ持ッテ居ルモノデアアルト云フコトヲ一ツ申  
上ダテ置キタイト思フ、而シテ村山君ノ御話ニ依レバ、現行  
法ニ於テハ甚ダ山林ノ課稅方法ガ宜シクナイ、之ニ反シテ  
岩本君ノ提案ノ如クスレバ、非常ニ宜シクナルト云フ風ナ  
前提ノ下ニ御話ニナリマシタガ、又私共ノ立場カラ申シマ  
スト、現行法ノ如ク山林所得ノ課稅方法ヲ規定シテアレバ、  
筋道モ立チ、又實際ノ取扱モドウヤラ進メテ行クコトガ出  
來マスケレドモ、若シ岩本君ノ提案ノ如クシマス、洵ニ遺  
憾ナガラ結局山林ノ所得ニ對シテハ、課稅ノ方法ハ收拾ス  
ベカラザル結果ニナリハセヌカト云フコトヲ憂フルノデア  
リマス、折角ノ御提案ニ對シテ批評ヲ加ヘルノハ失禮カモ

知レマセヌガ、先ツ順序トシテ申上ゲマス、其次ニ愈々具體  
的ノ御質問ニ御答シマスガ、政府ノ案ノ如クスルト、ドウシ  
テモ買受ケタ代金ト云フモノヲ調ベナケレバナラヌ、ケレ  
ドモ其買受代金ヲ調ベルコトハ出來ナイデハナイカ、是ガ  
即チ質問ノ要點ダト云フ御話デアリマシタ、成程只今御話  
ノ通り十數年若クハ數十年前ニ買受ケタモノニナルト、其  
買受代金ヲ精密ニ調ベルコトハ至難デアアルト私共モ思ッテ  
居リマス、併ナガラ何トカ調ベル方法ガアレバ、稅務署ト  
シテハ之ヲ何處マデモ調ベナケレバナラヌ、併ナガラ稅務  
署ガ調ベル前ニ一應本人ヨリ申告ノアルベキ筈デアアル、更  
ニ其申告ガナカッタラバ、其人ガ買受ケタモノノデアリマス、  
自分ガ養成シタモノデアアルト認メテ差支ナイト思ヒマス、  
若又買受ケタモノデアアルナラバ、自分ガ幾許デ買受ケタト  
云フコトヲ忘レル筈ハアルマイト思ヒマス、若シ忘レタト  
シテモ何年前ニ買受ケタ位ノコトハ分ルト思ヒマス、其時期ガ  
分レバ買受代金ガ分ラナクテモ、稅務署ガ最モ事實ニ近カ  
ルベキモノノ根據ヲ押ヘテ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ五年前ニ  
ハ凡ソ此位、十年前ニハ凡ソ此位ト云フ根據ニ基イテ調  
査ヲ申シテ、買受代金ヲ算定スルノ外ハアリマセヌガ、成ベク  
本人ノ申告ニ基イテヤッテ居ル次第デアリマス、ソレカラ立  
木ト土地ト共ニ買受ケテ、又後日之ヲ共ニ賣買シタトキニ、  
其差益ヲ見ルコトハ比較的易イケレドモ、立木ト土地ト共  
ニ買受ケテ、他日山林ノミヲ賣却シタ場合ニ於テハ、如何ニ  
シテ其差益ヲ見ルヤト云フ御尋デアリマシタ、是モサウモ  
ヅカシイ事ハナイト思ヒマス、ムヅカシク考ヘレバムヅカ  
シクナリセウガ、併ナガラ一體所得ヲ算定スルニ付テハ、  
成ベク申告ニ依リマスケレドモ、申告ノ當テニナラヌモノ  
ニ付キマシテハ、ソレノ材料ヲ蒐メテ算定シ、若クハ其時  
々ノ相場ニ依ッテ調査シテ算定スルト云フコトハ、是ハ有勝  
ノ事デアッテ普通最モ相場ナドノ知リ易イ、而モ殆ド問題ニ  
ナラヌモノノ如キデスラモ、實ハ農家ガ收穫米ヲ一石幾許デ  
賣ツタカ、或ハ一俵幾許デ賣ツタカト云フ事實ハ、個々別々ハ  
分ルモノデアリナイ、併ナガラ今年ノ何月頃ニハ米一石ノ  
相場ガ幾許デアッタ、米一俵ノ相場ガ幾許デアッタト云フコ  
トハ是ハ分ル道理デアアル、ソレヲ以テ算定スル、ソレトハ幾  
分程度ハ遠ヒマスケレドモ、山林ニ於テモ何村ノ何字ノ山  
林ハ、此頃ハ一町歩三百圓トカ五百圓トカ云フ相場ガ定ッテ  
居ルト思フ、例ヘバ數年前迄ハ山林ハ一町歩僅ニ三百圓五百  
圓デアッタケレドモ、近來材木ナドガ騰貴シテ三倍四倍ニナッ  
テ居ル、故ニアノ地方ノ山林ナラバ土地一町歩ガ千圓乃至  
二千圓位デアアル、此方ノ山林ハ便利モ宜シ地價モ良イカラ、  
一町歩二千圓乃至三千圓位デアアルト云フ相場ガアルト思  
フ、又立木ニシテモ杉ニシテ三十年ノ樹齡デアレバ一石ニ

幾許、五十年ノ樹齡デアレバ一石幾許ト云フ相場ガアリマ  
スカラ、之ヲ能ク調ベテ之ニ依ッテ算定スレバ、土地ハ土地、  
山林ハ山林トシテ買受價格又ハ賣渡價格ヲ調査スルコト  
ガ出來ナイモノデアリナイト思ヒマス、併ナガラ私ハ之ヲ易  
々タルモノトハ申シマセヌ、先程御引合ニ出サレタ米ナド  
ノ場合ト違ヒマセウケレドモ、程度ノ問題デ絕對ノ不可能  
ノ事デハナイト思ヒマス、隨テ先程御尋ニナリマシタ買  
受代金ト賣渡價トノ差益モ、右申シタヤウナ手續ニ依ッテ  
ヤッテナラバ分ルコト、思ヒマス、而シテ又實際稅務署モ  
私ガ申述ベマシタ方法ニ依ッテヤッテ居ルコト、承知シテ  
居リマス

○村山委員、次ニ御尋シタイ事ハ、此伐採ノトキニ一番最  
後ノ所得者ニ稅ヲ課スルト云フコトニスルト、租稅ノ轉稼  
ト云フコトガ行ハレバ宜イケレドモ、轉稼ガ何時デモ必  
ズ行レルト云フ筈ノモノデアリナイカラ、詰リ第一カラ第五  
マデ所有者ガ變々トキニ、第五ノ人ガ前者ノ取得モ合セテ  
負擔スルト云フコトハ、餘程困難ナルコトデアハナカラウカ、  
此意味ニ於テ反對スル、斯ウ云フ御意見デアッタヤウデア  
ル、是ハ轉稼ガ行ハレルヤ否ヤト云フコトハ、孰レモ見ヤウニ  
依ルノデアッテ、私ハ轉稼ガ行ハレルカラ一向差支ナカラウ  
ト斯ウ考ヘルノデアリマスガ、此最後ニ木ヲ伐ッテ人ガ所得  
稅ヲ負擔スルト云フ事ハ、ソレヲ伐採造材シテ、一ノ商業的  
或ル目的ニ供スルト云フ意味カラ、伐採造材スルノデア  
ルト思ヒマスガ、サウナラバソレヲ買受ケルトキニ、之ヲ伐  
レバ所得稅ハ買受代金ノ外ニ幾許掛ル、ソレト皆買受代金  
ヲ如何ニスベキカト云フ事ヲ當然考慮シテ私ハ當業者ガ買  
受ケルデアラウト思フノデアリマス、伐採スル方カラ言フ  
トソレカラ伐採セズシテ中間ニ於テ五年ナリ十年ナリ  
持ッテ居ッテ、直ニ伐ラヌデ利益ノ出タ時ニ賣ツテヤラウト云  
フ方カラ言ヒマスルト云フト、ソレハ又自ラ別問題ニナリ  
マスガ、此伐採スル時コソ價額ハ大キクナルノデアアルケ  
レドモ、中間ノ方ニナルト云フト、假ニ一萬圓デ買ッテ居ッ  
テソレヲ二萬圓デ賣ツタト云フヤウナ時ニ於テハ、何モ別段伐  
ラナケレバ稅方掛ル譯デアリナイノデスカラ、此間ニ轉稼ノ  
アリヤウハナイト私ハ思フノデアリマスガ、最後ノ伐採ス  
ル人ノミニ轉稼シテ行クカドウカト云フ問題デアリマスガ  
伐採其モノハ既ニ金ヲ回收スルト云フ意味ニナルノデアリ  
マスカラ、先ノ人カラ買受ケル時ニハ、當然此買受代金ニ所  
得稅ガ加ハルモノデアアルト思ヒマス、一種ノ仕入金デア  
ルト云フヤウニ看做シテ、私ハ賣買ハ行ハレルモノト思ヒマ  
スカラ、當然轉稼ハ都合好ク行クト思ヒマスガ、之ニ對スル  
御意見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

○松本政府委員、只今ノ御質問ハ先程松實君ノ御尋ト大體

○松本政府委員、只今ノ御質問ハ先程松實君ノ御尋ト大體



同ジヤウデアリマスシ、又ソレニ對シテ私方御答ヲ致シマシタ、又繰返スコトニナルカモ知レマセヌガ、折角ノ御尋デスカラ御答ヲ致シマス、尤モ方角違ノ御答ヲ致スカモ知レマセヌガ、其時ニハ又改メテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今ノ御話振ニ依リマスルト云フト、伐採者ガ買受ケルトキニハ買受ル直ク片端カラ伐採スルト云フコトヲ前據トシテ御話ニナツタヤウニ私ハ思ヒマス、併ナガラ所謂山師トカ云フテ直ク買受テ伐採シマフコト云フヤウナナラバ、必ズ其トキ伐採スルカモ知レマセヌケレドモ、山林ヲ買受ケル人ハ必シモ買受ケル同時ニ伐採スベキモノトハ限ラヌト思フノデ、山林ハ買受テ置クガ、孰レ是ハ相當ニ木材ノ値デモ出タトキニ一ツ賣テヤラウト云フヤウナ考デ買受テ置ク人モアリマセウシ、或ハ山林ヲ買フノダケレドモ、今之ヲ伐採シテ賣テ所方其割ニ値方出ナイ、之ヲ今十年カ或ハ十五年デモ持ッテ居ルト云フト、非常ニ價額方出テ來ル、ソレデカラ其時ニ賣ラウ、斯ウ云フ考ヲ以テ買フ人モアリマセウシ、ソレカラ又現ニ今伐採シテ、サウシテ元金ニ代ヘヤウト思ッテ買フ人デモ、其後俄ニ考ヘ直シテ、是ハ自分伐採スルト云フコトハ大分手數方掛ルカラ、好イ値方出タラバ直ク轉賣スルト云フヤウニ、氣ノ變ル人モアルト思ヒマス、サウシマスルト云フト、自然伐採當時迄ハ相當ノ時間ガアリ得ルコト、私ハ想像出來ヤウト考ヘマス、其事ヲ考ヘマスルト云フト、ドウモ先程松實君ニ御話シマシタ通り、ドウモ租稅ノ逆轉ト云フモノハ完全ニ行ハレナイ場合モアル、斯ウ思フノデアリマス

○村山委員 モウ一度之ニ付テ候ヒタイト思ヒマスガ、此山林ノ買受及伐採ト云フコトハ、山林ヲ一ツノ財產即チ資産トシテ、ソレヲ所有スル意味ニ於テ買受ケル人モアリマス、又ハ山林其モノヲ買受ケテ、直ニ之ヲ伐採シテ造材若クハ製材シテ、商業的營利ノ目的ニ供スルト云フノモアリマス、私ノ今申シマス最後ニ伐採スル人ニ轉嫁スルト云フコトハ、是ハ伐採其モノハ直ニ造材シ、製材サレルモノガ殆ド九分九厘ハサウデアアル、是ハ商業家ノ手ニ依ッテ處分サレルモノト見テ居ル譯デアリマス、中間ニ於テ五年十年持ッテ居ッテ、立木ノ儘之ヲ他ノ人ニ賣ル、又其人ガ五年十年持ッテ居ッテ之ヲ他ニ賣ルト云フコトニナリ、資産トシテ之モ取扱フ、一種ノ不動貯金ノヤウナ意味デ、之ヲ持ッテ居ルト云フダケノ差ガアリマスケレドモ、伐ルト云フコトハ、是ハ商業家ノ手ニ依ッテ行ハレルコトガ多イト自分分ハ見テ居ルノデアリマス、之ガ稅務署ノ側カラ見ルト云フト、資産トシテ之ヲ取扱フ人モ、又伐採其モノヲ目的トシテ商業的意味ニ於テ之ヲ取扱フテモ同様ニ見ルカラ、此中間云々ト云フ御議論ガ出ルモノトハ、思ヒマスルケレドモ、伐採ノトキ一逼

ニ取ルト其時ニ金ガ入ルノダカラ、ソレカラ取レバ宜イト云フコトニスレバ、私ハ完全ニ轉嫁ト云フモノガ行ハレ得ルト思フ、又買受ケル人モ其所得稅ト云フモノヲ、買受ケルトキニハ、一ツノ仕入代金トシテ見テ居ルノデアリマスカラ、何等是ハ轉嫁ガ行ハレナイイダラウト云フヤウナ御疑念ハ、私ハ殆ド要ラナイト思ヒマス、中間ニ於テ買受ケテカラ五年十年持ッテ居ッテ、伐ラナイイダラウ、又五年十年持ッテ居ッテ又賣ルノデ、其時ニナツテ轉嫁ガ行ハレナイイダラウト云フヤウナ御意見デアリマスガ、私共ハ此伐ル時稅ヲ拂フト云フコトデアレバ、何等其間ニ御疑念ニハ及バナイダラウト思ヒマスガ、ドウ云フ思召デスカ、私ニモ少シ吞込ミ兼マス、單ニ伐ル時ニ掛ケタラ宜イデハナイイカ、伐ルトキハ所得稅ガ掛ルト云フコトヲ目安トシテ、ソレダケラ仕入金額中ニ見テ買受ケルコトト私ハ信ジ、サウ解シテ居ルノデアリマス

○松本政府委員 何ダカ廻リノニナツテ來マシテ、私モ頗ル迷ウテ來マシタノデアリマスガ、一體現行法ノ通りニ稅ヲ課シマスルト云フト、先ヅ所得稅ハ各其所得シマスル人ニ向ッテ公平ニ課稅セラレ、然ルニ伐採シタトキニ伐採シタ人ニノミ所得稅ヲ課スルモノト云フコトニナリマスルト、不公平ガ起ッテ來ルト云フコトガ吾々當局ノ主張ナラシ、ソレハドウシテサウ云フコトヲ主張シ、サウ説明スルカト申シマスルニ、甲ト乙トノ人ガアル、孰レモ樹齡方五十年ヲ過ギテ居ルダケノ立木ヲ持ッテ居ル、甲ハソレヲ伐採シテ所得ヲ得ル、乙ハ其立木ノ儘ニ之ヲ丙ニ賣渡シテ、甲ト先ヅ同額若クハ若干少イ所得ヲ得ル——所得額ハ問題ニナリマセヌ

然ルニ甲ニ課稅シテ乙ニ課稅シナイト云フ事ハ、是ハ公平ヲ得タモノデハナイノデアアル、故ニ立木ノ儘ニ之ヲ賣渡シテ而シテ所得ガアツタ場合ニ於テ所得稅ハ課スベキモノナリト、斯ウ云フ事ヲ吾々當局ハ主張シテ居ルノデアリマス、ソレデアナタ方ノ御主張ニ依ルト云フト、其甲ト云フ人ガ立木ノ儘ニ賣渡タトキニ、所得稅ヲ掛ケナイイデ置ク、而シテ今後ハ甲ガ乙ト云フ人ニ賣リ、乙ハ又立木ノ儘ニ之ヲ丙ニ賣リ、ソシテ丙ガ初メテ其立木ヲ伐採シテ、斯ウ云フ場合ニ丙ニ所得稅ヲ掛ケレバ宜イデハナイイカト云フ結論デスナ——所ガソレデハ宜イカト云フコトデ、先刻カラ押問答ガアル状態デス、而シテアナタ方ノ主張ハ、今私ノ例示ニ於テ言ヘバ、丙ニ所得稅ヲ掛ケレバ、乙ニ逆戻リヲシ、乙カラ甲ニ逆戻リシテ甲モ所得稅ヲ負擔スルコトニナルカラ、政府當局ノ心配スル如ク、甲ト乙トノ間ニ不公平ヲ來タサナイデハナイイカト云フ御議論デアリマス、ソレニ付テ私共ノ考ヲ申シマスレバ、アナタ方ノ御主張ニ依レバ、甲ガ乙ニ賣リ、乙ガ丙ニ賣リ、丙ガ伐採シテ賣タトキニ、丙ノ所得ニ對

シテ稅ヲ掛ケレバ、逆ッテ甲ニ及ブカラ宜イト仰シヤルケレドモ、其場合ハ普通租稅ハ甲迄逆戻リヲシナイト見テ居ル、ソレデアルカラ實際甲乙ニ所得ガアツタニモ拘ラズ、マンマト所得稅ハ通レテ、伐採シテ賣、タ丙ノミガ稅ヲ掛ケラレルコトニナルカラ、御提案ニ賛成致シ兼ネルト御答シテ居ルノデアリマス

○松實委員 只今御話ノヤウニ、丙ガ稅ヲ課セラレテ甲ニ逆轉シテ往カナイイデモ、國家トシテハ租稅ヲ取ル目的ハ達シ得ルト思ヒマス、例ヘバ甲ガ乙ニ賣タトキニハ十圓ノ所得稅ヲ取ル、乙カラ丙ニ賣ル時ニ又十圓取ル、合セテ二十圓デアリマスガ、其都度取ラヌデモ丙ガ伐採シテ賣タトキニ、丙カラ甲乙ノ合セテ分テ取レバ、課稅ノ目的ハ達スルト思ヒマスガ、ソコハ如何デスカ

○松本政府委員 政府ノ懷勘定カラ言ヘバ同ジ事カモ知レマセヌガ、尙ホ能ク考ヘテ見マスケレドモ——併ナガラ一體租稅ハ申ス迄モナク公平ニ、而モ負擔力ノアル人ニ掛ケルノガ原理原則デアリマス、苟モ課稅ノ方法ガ立テバ、各々所得アル人ニ課稅シ得ルニモ拘ラズ、所得ヲ持ッテ居ル人ニ課稅シナイイデ、持ッテ居ナイ人ニ課稅スルノハ良クナイト思フ、若シ岩本君ノ御提案ノ通りニスルト、現實ニ所得ガ無いニ拘ラズ、其人ニ對シテ課稅シナケレバナラヌヤウニナリ、又所得ガ現ニアツテモ掛ケラレナイイデウニナル、是ハ不公平極マルカラ御同意ガ出來ナイノデアアツテ、同ジ稅額ガ取レルカラ良イデハナイイカト云フ議論カラ言ヘバ、良イカモ知レマセヌガ、ソレデハ公平ヲ失シマスカラ、ドウカ其點ハ御考ヲ願ヒマス

○松實委員 甲ガ乙ニ賣ル際ニ當ッテ、何程ニ賣ルト云フコトキニ、既ニ稅金ハ後ニ至ッテ拂ハナケレバナラヌト云フコトガ買手ノ方ノ頭ニ在ル、又乙カラ丙ニ賣ルトキニモ、丙ハ後ニ之ヲ伐ルトキニハ所得稅ヲ納メナケレバナラヌモノデアアルト云フコトヲ眼中ニ置イテ賣買ガ行ハレルノデアリマスカラ、其間ニ於テ自ラ調節ガ付クト思ヒマス、サスレバ國家ガ租稅ノ目的サヘ達スルナラバ、政府委員ノ言ハル、ヤウニ考ヘナクトモ差支ナイイデハナイイカト思ヒマスガ如何デスカ

○松本政府委員 ソコデス、其問題ハドウモ逆戻リガシテ、其立木ヲ賣ク人デモ、賣ッタコトニ依ッテ生ズル所得ニ對シテ、相當ノ所得稅ヲ負擔シテ居ルト云フ結果ガ現レバ、所謂租稅ノ逆轉ガ行ハレルノデアリマスガ、ソレハサウハ往クマイ、ソコガ即チ見解ノ岐レル所デアリマス

○岩本委員 昨年私ト熊谷君カラノ質問ニ對シテ、山林ノ所得稅ハ不勞所得デアルカラ、擔稅力ハ多イト云フ事ヲ仰シヤツタ、吾々ガ不勞所得ト唱ヘルモノハ、國家ガ交通機關

ヲ發達セシメタトカ、港灣修築其他ノ設備ニ依テ自然ニ上  
ツタノハ不勞所得デアル、而シテ山林ハ不勞所得ヲ擔稅力ハ  
多イカラ、稅ヲ多ク取テモ良イト云フ議論ヲサレテ居ル  
然ルニ政府ノ不勞所得ト云フノハ、山林ニ付テドウ云フ點  
ヲ指シテ言ハレルノデアリマスガ、山林ハ不勞所得ニ屬ス  
ルモノハ少イノデ、偶ニハ鐵道ガ出來テ、一部ニ増價スルコ  
トハアリマスガ、政府ノ所謂不勞所得トハサウ云フモノヲ  
指スノデアルカ、或ハ自然ニ林木ノ生長ニ依テ増價スルノ  
モ不勞所得ト云フ御解釋デアルカ、此點ヲ先ツ確メマス

○草間政府委員 昨年ノ答辯ニ付テ、山林所得ガ不勞所得  
デアルト云フ意味ハ、如何ナル意味デアルカト云フ御尋  
デアリマス、是ハ所謂不勞所得ト云フ意味ハ、山林ノ所謂所  
得ハ是其材木ノ自然ニ成長スル所ノ所得デアルト云フ事  
ヲ意味シタノデアリマシテ、ソレヲ唯一節ダケテ取ルト甚  
ダ不合理ノヤウデアアルガ、是ハズト前後ノ關係ヲ通覽スル  
ト、其意味ガ分ルト思ヒマス、其所謂片鱗ヲ見マスト如何ニ  
モオカシイケレドモ、ソレハ斯ウ云フ事デアラツンデス、ソ  
レハ齋藤サンノ御質問デ、土地ノ價格ノ増加ト云フモノト、  
ソレカラ此土地建物ノ價格ノ増加ト、山林ノ増加ト同ジモ  
ノヂヤナイカ、然ルニ現行法ハ土地建物ノ自然増加ノ一  
万圓ノモノガ一万二千圓ニナル、其差額ノ出來ルノハソレ  
ハ實際ノ山林ノ所得ニ對シテ課稅スルノハ不合理デナイカ  
斯ウ云フ御質問デアラツンデアリマス、併ナガラソレハ土地  
建物ノ價格ヲ増ス所ノ所得ト、山林所得トハ區別シナケレ  
バナラヌト云フ事ヲ申シタノニ過ギナイノデアリマシテ、  
ソレデ所謂今ノ土地建物ノ所得ト、山林ノ所得ト云フモノ  
ハ違フノデ、山林ノ所得ハ其内容ハ自然ノ樹木ノ成長スル  
所ノ所得デアアルカラ、兩者ノ性質ハ違フト云フ事ヲ申シタ  
ノデアリマスカラ、ドウカ其意味ニ御承知ヲ願ヒマス

○岩本委員 モウ一ツ伺ッテ置キマス、是モ前御質問ノ中ニ  
モ若干其意味モアリマシタガ、買入代金ハ之ヲ實施スル場  
合ニ、今日ノ貨幣制度デスカ、以前ノ維新前ノ貨幣制度  
ウ云フ換算ヲスルカ、是モ承テ見タイ、ドウモ貨幣制度ノ  
決定セテ場合ノ買入代金ヲ控除スルト云フコトハ、是ハ不  
可能ナコトデアアル、是モ一ツドウ云フ風ニシテ現行法ヲ施  
行スルカ、之ヲ承テ置キタイ、ソレカラ先キカラ局長ノ御  
話ニモ、納稅轉嫁ハドウモ逆轉デアルト云フコトヲ毎々御  
述ニナツテ居リマスガ、私ハ此納稅轉嫁ハ逆轉デアルトスル  
ナラバ、一體今日伐採シテ居ル樹木ハ、八十年モ百年モ前ノ  
モノヲ今日伐採シテ居ルノデ、其モノニ對シテ今課稅ヲス  
ル、是等モ少シク所得稅法實施以前七八十年ノモノヲ、ソレ  
ヲモ控除シナケレバナラヌト云フコトハ、全ク先祖ハ今日  
所得稅ナンカヲ實施シヤウト思フテ買入レタモノデハナイ、

何等ノ其準備モ無イモノデ、後トカラ何十倍ニ騰貴シタモ  
ノヲ控除シナケレバナラヌト云フナラバ、先以テ此控除ト  
云フモノヲ如何ニシテスルカ之ヲ伺ヒタイ

○草間政府委員 改正制度前ノ買入代金ハ如何ニシテ控除  
スルカト云フコトハ、私ノ方カラ御伺シタノデ、此山林ノ伐  
採ノ所得ニ課稅致シマスノモ、矢張經費ハ控除シナケレバ  
ナラヌ、然ラバ其植栽ノ經費モ貨幣制度前ノ經費ハ、如何ニ  
シテ控除スルカト云フコトハ、ソレハ改正前モ後モ同様デ  
アリマス、其點ニ付テハ改正案モ現行法モ取テ異ナル所ハ  
ナイト思ヒマス

○岩本委員 ソレハ甚ダドウモ其意ヲ得マセヌガ、買入金  
ハ是ハドウシテモ現實デナケレバナラヌ、植栽養成ノ經費  
モ、今日ノ貨幣カラ割出シテ買入金ヲ推定スルト云フコト  
ハ出來マセヌ、ソレヲ是ト同ジヤウニスルノガ間違ノ始リ  
デアアル、併シサウ云フ様ナ御見解ヲ持ッテ居ラレラバ  
寧ろ矢張伐採ニ依テノ所得カラ植栽養成ノ價格ヲ引ク方  
ガ確實ナモノデ、殆ド推定ノ買入代金ト云フモノハ、今カラ  
五十年六十年ノ前ニ買入レタモノヲ、之ヲ今日ノ貨幣ニ依  
テ推定スル、是レコソ間違ノ本デアアル、一方ニ山林ノ植栽養  
成ト云フモノハ、林學上殆ド極々コトデアアル、ソレニ對シテ  
サウ云フ事ヲ言ッテモ、是ハ今日ニ始メタモノデナイ、餘程前  
カラ相當専門ノ者ガ研究シテ現在決ッテ居ル、之ヲ何時マデ  
モ盲從サレテ、ソレト是レト混同サレテ、ハ間違デアラ  
ウ、ソレト今一ツ山林ノ納稅ノ逆轉デアルト云フナラバ、  
ノ方マデ戻ッテ行クコトハ、轉嫁デアルト云フナラバ、  
先刻後段ニ伺ッタ本法實施前ノ此代金ノ控除スルガ、其  
後ニ於テ植栽シタナラバ、本法ニ於テモソレ以外ノモノハ  
除外スルカシナイカ、納稅轉嫁ト云フコトハ、今日ノ植栽  
ノミナラズ昔ノ事ニマデ及ブカ、是ハ如何ニ御考ニナル  
カ、此一點ヲ伺ヒマス

○草間政府委員 今ノ經費ノ控除額ノ問題デアリマスガ、  
幾ニモ申シマシタヤウニ、サウ云フ買入代金ニ付テ、維新前  
若クハ改正前ノ控除スルコトガ出來ナイナラバ、ソレガ  
不合理ト云フコトナラバ、經費ノ事モ同様線返シテ言フ  
マデモナク同ジコトデス、併ナガラ此經費ノ如キハ、所謂養  
植費ノ如キハ之ヲ學理的ニ分ルコト云フ御話デアリマスケレ  
ドモ、若シ學理的ニ經費ガ分ルナラバ、矢張山林ニ付テモ其  
見ヤウニ依ッテ計算ガ出來ヤウト思ヒマス、サウ云フ材料ヲ  
基本トシテ、之ニ對シテ控除スルト云フコトモ、必シモ不可  
能デナイト思ヒマス

○村山委員 一寸私ハ現行ノ土地立木ノ賣買セラル、際  
ニ、所得稅ヲ課スル、其課稅ノ方ハ其人ガ所得幾何アルト云  
フコトヲ稅務署ガ調べ、申告ガアレバ其申告ヲ信用スレ

バ當然デアリマスガ、ソレヲ出サナイ者モ大分吾々ノ地方  
ニアリマスガ、土地キ立木ヲ賣買シタモノヲ、賣入ガ其立木  
ニ對シテ所得アリシコトヲ、稅務署ガ之ヲ知ル方法ハドウ  
云フ方法ヲ執ッテ居ルカ、徵稅ノ事實ノ上ニ於テ、所謂登記  
所ニ於テ土地ノ所有權ガアッテ納稅ノナイノハ、本人カラ申  
告シテ貰ヘルシ、斯ウ云フモノハ取レルヤウニ思ヒマスガ、  
是等ノモノヲ漏レナク公平ニ課稅スルヤウナコトニ付テ、  
稅務署ハドウ云フ方法ヲ執ッテ居リマスカ伺ヒタイ

○草間政府委員 山林伐採ノ所得ニ對シテ漏ナク課稅スル  
ト云フコトハ、中々ムツカシイノデアリマスガ、色々ノ方法  
ニ依ッテ調査シテ居リマス必シモ二三止ラヌノデアリ  
マス、先ツ普通ノ方法トシテハ登記所カラ町村ニ對シテ地  
租ノ關係上、土地臺帳ノ謄本ヲ送ルノデアリマスガ、其際稅  
務署ヲ經由シテ送ル事ニナツテ居リマス、其際土地移轉ノ登  
記、サウ云フモノガアレバ、其地目ニ付テ能ク睨ンデ居ッテ、  
果シテ其場合ニ於テ山林ノ讓渡等ガアリハシナイカト云フ  
コトヲ睨ンデ居リマス、ソレカラ山林若クハ材木ノ仲買人  
ト云フヤウナモノ、所謂材木屋等ニ付テ始終調査シマシ  
マシテ、是ハ營業稅ノ調査上下ノ邊カラ買入レテ居ルカト  
云フコトヲ調査シマスカラ、其際ニ於テソレ等ノ資料モ活  
用スルトカ、其他稅務署ノ役人ヲシテ、或ハ直稅ノモノ間稅  
ノモノト云フ事ヲ始終調査セサセマス、又單ニ所得稅ト云  
フヤウナ關係ノ事務ヲ主管シテ居ル者モ、又其他ノ役人デ  
モ、小林ノ伐採ガアツカドウカト云フコトヲ始終注意シテ  
居ッテ、少シクモサウ云フコトヲ聞及ンダナラバ直ニ稅務  
署ノ方ニ通知スルコトニナツテ居リマス、ソレハ小サイ「カ  
」ド「ガ出來テ居ッテ「カード」式デ記入スルコトニナツテ居  
ル、若シサウ云フ事ガアレバ、稅務官吏ト其他ノ者ガ協力シ  
テ調査スル、ソレカラ殊ニ山林ノ多イヤウナ地方ニ付テハ、  
特ニ經驗アリ又事業ニ關係アル人ヲ顧問ト致シマスガ、或  
ハ囑託トシテ置イテ、サウ云フ人ニ付テ事實ヲ聞クト云フ  
コトニシテ居リマス、ソレ等ノ方法ニ依ッテ成ベク漏レナイ  
ヤウニ調査シテ居ル次第デアリマス

○松實委員 私ハ一寸提案者ニ御話致シマスガ、第十四條  
ノ第一項ノ第三號ヲ左ノ如ク改ム「山林ノ所得ハ山林伐採  
ニ因ル前年ノ總收入金額ヨリ其ノ植栽養成ニ必要ナル經費  
ヲ控除シタル金額」ト云フコトデアリマスガ、植栽養成ニ因  
ル以外ニ控除スベキ金額ハ無イノデアリマスガ

○岩本委員 御答致シマスガ、吾々ハ矢張森林ノ先ヅ之ヲ  
概括文字デ言ヘバ、管理ト云フモノ宜イ、ソレデヤ文字ガ少  
イナラバ植栽養成ト書ケバ分リ易イガ、趣意ハ植栽養成ニ  
外ナラナイノデアリマス

○松實委員 サウシマスルト、例ヘバ甲カラ乙ガ買フタ其

金額ノ買入代金ト云フヤウナモノハ、ソレハ控除シナイノデアリマス。

○岩本委員 控除シナイノデアリマス。

○松實委員 ソレカラモウ一ツ伺ヒマスガ、先刻來カラノ質問應答ノ點カラ考ヘテ見マス、實際ノ養成上ニ付テハ餘程手續方面倒ダト思ッテ居リマスガ、法律テ手續ヲ改正致シテモ、ドウシテモ此只今ノ御提案ノヤウナ文面ニ改正ヲ施サナケレバ、手續上ノ改正ダケテハ目的ハ達セラレヌコトニナリハシマセヌカ、其點ヲ一寸伺ヒマス。

○岩本委員 之ニ付キマシテハ少シク來歴ヲ御話致シテ見タイト思フノデアリマス、最初矢張是ハ四十三議會ノ改正ノ以前ハ、山林ノ所得ハ山林伐採ニ因ル前年ノ總收入金額ヨリ、必要ナル經費ヲ控除シタル金額トアリマシク、而シテ其施行規則ヘ以テ行ッテ、ソレハ十四條ト思ヒマス、何々ハ立竹木ノ儘賣買讓渡スルモ伐採ト看做スト、斯ウ云フ飛ンデモナイ施行規則ガ、拵ヘテアッテ、所謂勅令ヲ以テ法律ヲ凌駕シタル條文ガアツタ、サウシテソレテ始終今マ、デヤッテ來テ居ッタンデアリマス、サウシテ稅ヲ取ラレテ居ッタンデアリマス、カラ、私ノ地方デハ一度ニ五十何件モ訴願ヲシテ、ソナナ管ハナイ、法律ヲ勅令デ以テ曲ゲルコトハ出來ル筈デナイト主張シテ、政府ノ敗ケタトキモアリマス、所デ今度四十二年ニナッテ、吾々ガ從來始終此施行細則ヲ改メル様ニシテ貫ヒタイト叫ンデ居タ結果、其施行法ノ條文ガ山林ノ所得ト直シタノデアリマス、ソレダカラ丁度前ノモノト今度ハ逆ニナッタ譯デアル、立竹木ノ儘賣買スルノハ伐採トハ看做サレヌト、斯ウナッタノデアリマス、ソレデ五六年ハ訴願シタ者ハ取ラレナイガ、シナイ者ハ取ラレル、斯ウ云フ様ナ風デアッテ、今日デモ甚ダ複雑デアル、ソレデアルカラ矢張以前ノヤウニ、他日土地ヲ離レテ本當ノ有價物トナッタトキニ所得稅ヲ取ルト云フコトガ、私ハ何トシテモ山林ノ根本ヨリシテモ、亦所得稅ト云フ根本ヨリシテモ、サウスルノガ宜イト云フコトヲ信ズルガ故ニ、斯様ニ改メル趣意デアリマス。

○八田委員長 大體御分リニナッタヤウニ思ヒマス、ソレデハ本日ハ質問ハ是ニテ打切りマス、明日午後一時開キマシテ決定致シタイト思ッテ居リマス、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス。

午後三時二十一分散會

大正十一年三月十日印刷

大正十一年三月十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局